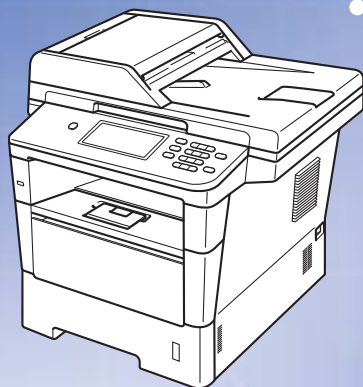
JUSTIO PRO brother

MFC-8950DW

ユーザーズガイド 基本編

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる 94ページ

2 サポート ブラザー 検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

おすすめ機能 12P

Version 0 JPN

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい
- 簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい

まずは使ってみましょう

- 使用できる用紙が知りたい
- ファクスしたい（基本）
- 電話帳を作成したい
- コピーしたい（基本）
- コンピューターからプリントしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）
- USBからプリントしたい
- 消耗品を交換したい
- お手入れのやりかたを知りたい
- トラブルを解決したい
- リサイクルについて知りたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい

もっと便利に使ってみましょう

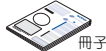
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- コンピューターからプリントしたい(応用)
- コンピューターでファクスを送受信したい
- コンピューター上にアドレス帳を作成したい
- いろいろな方法でスキャンしたい
- さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）
- ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい
- 分からない用語を調べたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい
- 携帯端末から直接プリントしたい
- スキャンしたデータを携帯端末に直接取り込みたい

知りたいことをコンピューターですばやく探しましょう

- 基本から応用までまとめて探したい
- 音量を設定したい
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- 電話帳を作成したい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- 送信履歴などレポートを表示､印刷したい
- 文字の入力方法を知りたい

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。

ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。
いつでも手に取って見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド　応用編

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用編

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。

ユーザーズガイド　ネットワーク編

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。
また、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

Googleクラウドプリントガイド（PDF形式）　ダウンロード

モバイル版Gmail™、GOOGLE DOCS™やChrome OSを搭載した携帯端末のデータをGoogleクラウドプリントサービスを利用し、インターネットを介して印刷する方法を説明しています。

モバイルプリント&スキャンガイド（PDF形式）　ダウンロード

Brother iPrint&Scan用

Android™やiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。（Windows® PhoneはPDFファイル印刷には対応しておりません。）

AirPrintガイド（PDF形式）　ダウンロード

Mac OS X 10.7.x、iPhone、iPod touch、iPad、またはiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法を説明しています。

クラウド接続ガイド（PDF形式）　ダウンロード

オンラインストレージに画像や文書をスキャンしてアップロードするときの各種設定、また保存されているデータのプリント方法について説明しています。

Wi-Fi Direct™ガイド（PDF形式）　ダウンロード

Wi-Fi Direct™対応の携帯端末と本製品を無線LANアクセスポイントなしで接続する方法を説明しています。

画面で見るマニュアル（HTML形式）　ダウンロード

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。
マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

- 冊子、CD-ROMは本製品に同梱されています。
- 画面で見るマニュアル（HTML形式）と各種説明書PDFマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMには、下記のユーザーズガイドがPDF形式で収録されています。
- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク編

Windows®の場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

2 モデル名をクリックする

トップメニュー画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

3 ［ユーザーズガイド］をクリックする

4 ［画面で見るマニュアル PDF形式］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

5 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

補足

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMからプリンタードライバー、スキャナードライバー、ソフトウェアをコンピューターにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-8950DW］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

2 ［ユーザーズガイド］のアイコンをダブルクリックする

3 モデル名を選択し、［次へ］をクリックする

4 ［top.pdf］をダブルクリックする

5 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

2 モデル名をクリックする

トップメニュー画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ］から CD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

3 ［サービスとサポート］をクリックする

4 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  ブラザーソリューションセンターを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

2 ［サービスとサポート］をダブルクリックする

3 モデル名を選択し、［次へ］をクリックする

4 見たい項目をクリックする

- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- Brother Web Connect
  クラウド接続機能画面を表示します。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  ブラザーソリューションセンターを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

目　次

付属のユーザーズガイドCD-ROMに収録「ユーザーズガイド 応用編」の目次

本書の表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

マーク	説明
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
! 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク編の参照先を表しています。 （XXXはタイトル名）
「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を表しています。（XXXはタイトル名）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。
【XXX】	本製品のディスプレイ内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう	●ページ順に1部ごとコピー／プリント〔ソートコピー〕	・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 ・コピー ⇒56ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
簡単に印刷設定をしてみましょう	●おまかせ印刷	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に	●ワンタッチダイヤルを使用する	⇒ 39 ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」
	●短縮ダイヤルを使用する	⇒ 39 ページ「短縮ダイヤルを使用する」
	●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的に付けられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度の操作で両面原稿を読み取って読み込む手間を省きます	●両面原稿の読み取りを設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
原稿をセットしておくだけで相手が必要なときに送ります	●相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクシミリに転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

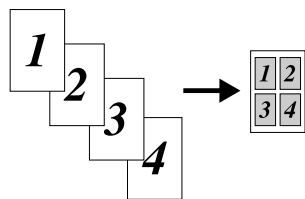
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒23ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	・コピー ⇒56 ページ「両面コピーをする」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 ・ファクス ⇒ 45 ページ「受信したファクスを両面印刷する」
複数の原稿を 1 枚にまとめてコピー／プリントして節約 	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	・コピー ⇒57 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをコンピューターで受信する〔PC ファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して 1 枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

通信費を節約

深夜割引※を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※：深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。

次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクス（T.38 準拠）※を使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。	● IP ファクスの設定をする	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※：IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する 〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」 ⇒ 51 ページ「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認 / 登録する」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏洩を防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック 2.0〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
印刷された内容を本製品の近くの人に見られたくない	●印刷をパスワードで制限する〔セキュリティ印刷〕	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

質がきれい におすすめ

コピー／ファクスの質を調整

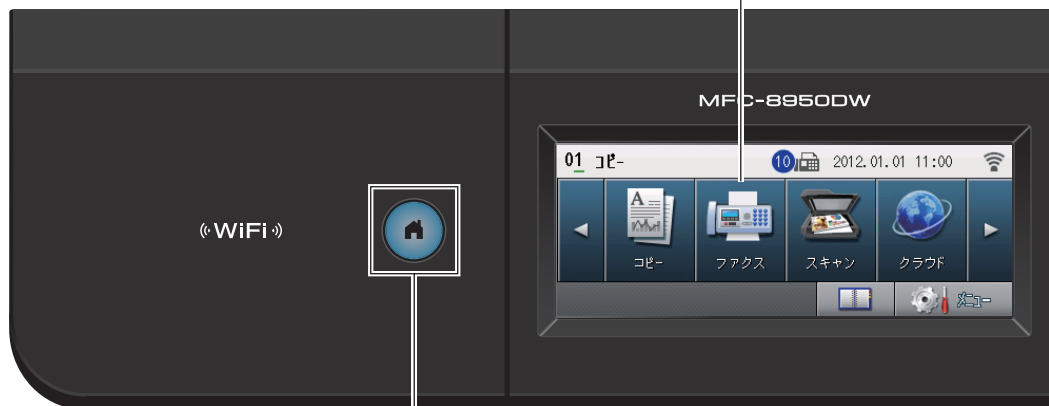
拡大／縮小を思いどおりに	●拡大･縮小コピーをする	⇒56 ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	･コピー　⇒59 ページ「画質を設定する」 ･ファクス　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	●明るさを設定する	⇒ 59 ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒ 60 ページ「コントラストを設定する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する ●ファクス受信時の印刷濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

タッチパネル

各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
画面に直接タッチして各設定を行います。
⇒19ページ「待ち受け画面」
⇒20ページ「タッチパネル」

ボタン

待ち受け画面に戻るときに押します。
操作可能のときに青く点灯します。

<スタート>ボタン

コピー、プリント、スキャンを開始するときなどに押します。

<停止/終了>ボタン

ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。
また、印刷処理中のデータや本製品に印刷されずに残っているメモリ内のデータを削除します。

ファクス機能ボタン

- **<オンフック>ボタン**
  ファクスを手動送信するときに押します。⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」
- **<再ダイヤル/ポーズ>ボタン**
  最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
  ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。
- **<タッチダイヤル>ボタン**
  ワンタッチボタンに登録されている番号にファクスを送信するときに
  押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ダイヤルボタン

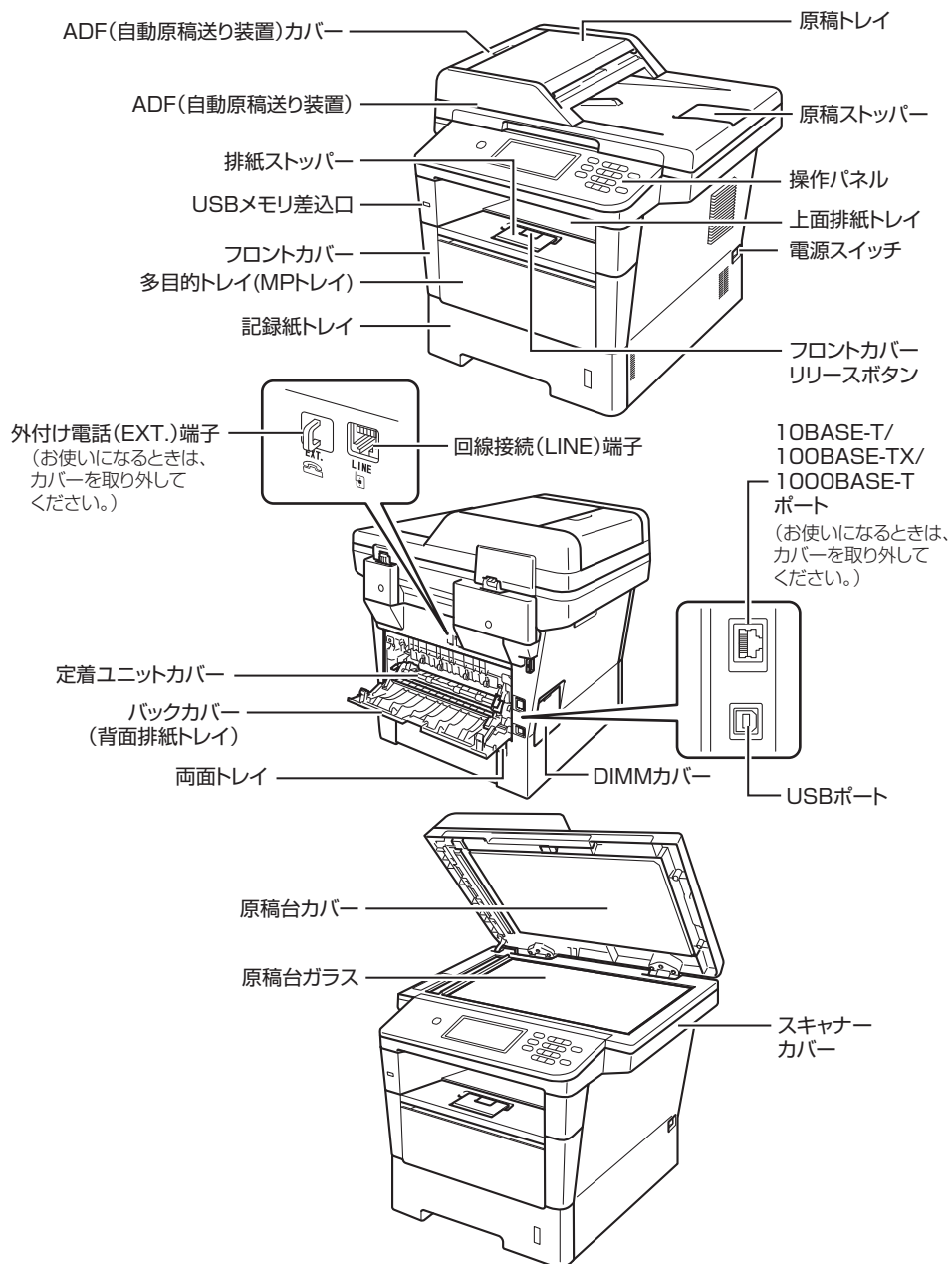
ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

プリントデータランプ

本製品の状態を操作パネル上のランプで、点灯／点滅／消灯によって表します。

プリントデータランプ	本製品の状態
消灯	電源スイッチがOFFになっている、メモリに印刷データがない状態、またはスリープの状態です。
緑（点滅）	コンピューターからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
緑（点灯）	メモリに印刷データがある状態。 メモリに何らかの原因で印刷できなかったデータが残っています。 対処方法については、⇒95ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

各部の名称

ADF(自動原稿送り装置)カバー
原稿トレイ
ADF(自動原稿送り装置)
原稿ストッパー
排紙ストッパー
操作パネル
USBメモリ差込口
上面排紙トレイ
電源スイッチ
フロントカバー
多目的トレイ(MPトレイ)
記録紙トレイ
フロントカバーリリースボタン
外付け電話(EXT.)端子
(お使いになるときは、カバーを取り外してください。)
EXT.
LINE
回線接続(LINE)端子
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポート
(お使いになるときは、カバーを取り外してください。)
定着ユニットカバー
バックカバー
(背面排紙トレイ)
両面トレイ
DIMMカバー
USBポート
原稿台カバー
原稿台ガラス
スキャナーカバー

機能設定操作の基本

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時などを確認でき、【メニュー】や などよく使用するボタンが並んでいます。

① モードインジケーター
選択されているモードを表示します。

② コピー
コピー機能を使用するときに押します。

③ ファクス
ファクス機能を使用するときに押します。

④ 保存されている受信ファクス件数
メモリーに保存されている受信ファクスの数を表示します。

⑤ スキャン
スキャン機能を使用するときに押します。

⑥ 日時表示
現在の日時を表示します。

⑦ 無線LAN/Wi-Fi Direct電波強度表示
無線LAN/Wi-Fi Direct接続時に電波強度を4段階で表示します。

ディスプレイ状態	
電波の強さ	弱い ←→ 強い

ディスプレイの右上に WiFi ボタンが表示されているとき、表示されたボタンを押すと簡単に無線LAN/Wi-Fi Direct接続の設定をすることができます。詳しくは、⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。

⑧ メニュー
メインメニューを表示させるときに押します。

⑨ クラウド
インターネットに接続するときに押します。
⇒クラウド接続ガイドを参照してください。

⑩ 電話帳

登録されている宛先やワンタッチダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。

⑪ セキュリティインジケーター

セキュリティ機能ロック、セキュリティ設定ロック設定時に表示されます。
セキュリティ機能ロックを設定すると、「一般モード」などが表示されます。

⑫ エラー表示

エラーまたは保守メッセージがあるときに表示されます。表示されたこのマークを押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。
表示内容を確認後、<停止/終了>ボタンを押してください。待機画面に戻ります。

⑬ セキュリティ印刷

セキュリティ印刷メニューを表示します。

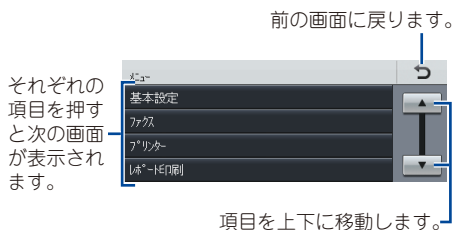
⑭ USBダイレクトプリント

USBメモリ使用時に使用します。

タッチパネル

LCD画面に表示された項目やボタンを直接指で軽く押して使用します。
【▲】、【▼】、【◀】、【▶】でスクロールができます。
[戻る]で前のメニューに戻ることができます。

注意

タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

ボタンを押すと設定が有効になります。

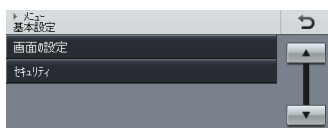
メニュー ▸ ファクス ▸ 受信設定
再呼出回数
8
15
20

操作例

以下の手順で、「画面の明るさ」設定を「明るく」から「標準」への設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押し【▲】または【▼】を押す

3 【画面の設定】を押す

4 【画面の明るさ】を押す

5 【標準】を押す

6 <停止/終了>を押す

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

ﾌﾟｯｼｭ回線です	：プッシュ回線に設定されたとき
ﾀﾞｲﾔﾙ20PPSです	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。接続後、【OK】を押すと回線チェックが行われます。
  『設定できませんでした』
  電話機ｺｰﾄﾞ両端の接続をご確認ください。
  または、ご利用の回線業者へお問合せください。
  電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>を押してください。【接続を中止します　よろしいですか？】が表示されますので【はい】を押してください。
- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、回線種別の設定を行わないまましばらく時間が経つと、【設定できませんでした】が表示され、続いて【回線種別を設定できませんでした】が表示されます。メッセージを消去するには、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。
  手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合

次世代ネットワーク（NGN）とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP 技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク（NGN）を通じてのみ、IPファクスが利用できます。

補足

- 次世代ネットワーク（NGN）に接続するには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があり、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク（NGN）についてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が異なる場合があります。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。

回収対象となる消耗品
　・トナーカートリッジ　・ドラムユニット
http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
　事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。
　一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

2 まずは使ってみましょう

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒ 25 ページ「セットできる記録紙」、⇒ 26 ページ「使用できない記録紙」

STEP 2　記録紙をセットする

記録紙トレイまたは多目的トレイ（MP トレイ）にセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒27ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒29ページ「多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙をセットする」

STEP 3　セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容があっているかを必要に応じて確認してください。

⇒ 32 ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。また、記録紙トレイと多目的トレイ（MPトレイ）の他に、オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設することにより、最大1050枚（80g/m^2の普通紙の場合）セットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数（80g/m^2）
標準記録紙トレイ （トレイ1）	普通紙、普通紙（薄め） （60g/m^2～105g/m^2） 再生紙 ハガキ※1（30枚）	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 A5（横置き） B6（ISO） A6 ハガキ（同等品）	500枚
多目的トレイ （MPトレイ）	普通紙、普通紙（薄め）、普通紙（厚め） （60g/m^2～105g/m^2） 超厚紙　（105g/m^2～163g/m^2） 再生紙 ハガキ※2（10枚） ラベル紙 封筒※2（洋形4号）（3枚）	ユーザー定義サイズ （幅76.2～215.9mm 長さ127.0～ 355.6mm）	50枚
増設記録紙トレイ （トレイ2）	普通紙、普通紙（薄め） （60g/m^2～105g/m^2） 再生紙	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 B6（ISO）	500枚

※ 1 ：⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
※ 2 ：⇒ 30 ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをおすすめします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 上面排紙トレイに一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^2紙）の場合、約150枚です。

使用できない記録紙

次のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない記録紙

- 光沢紙
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- 極端に薄い記録紙
- カールしている記録紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋の付いている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。
- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒

注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こすおそれがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。⇒26ページ「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙トレイに記録紙をセットする

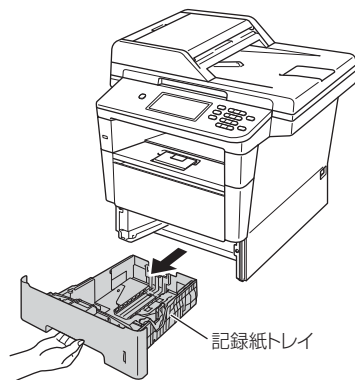
! 重要

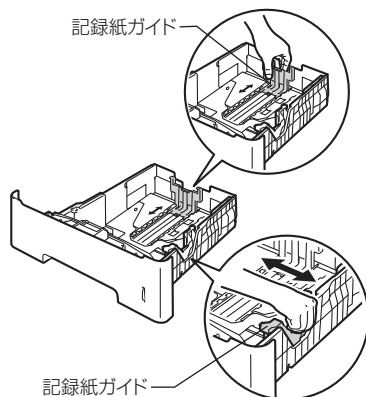
記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

注意

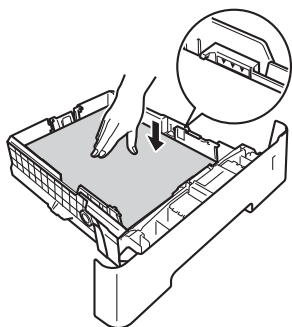
■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

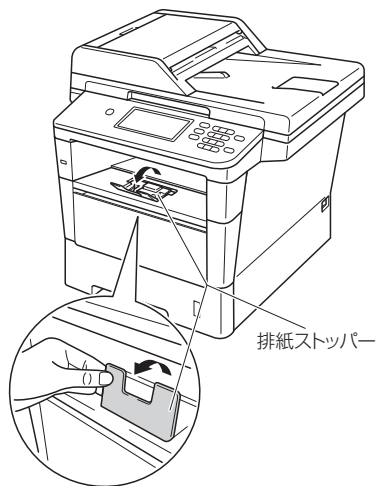
■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

2 緑色の記録紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する記録紙の表示位置に合わせる

緑色の記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

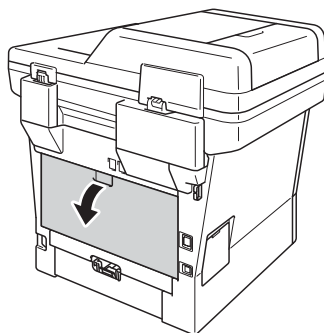
4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドとセットした記録紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。

5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く

注意

■印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた記録紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

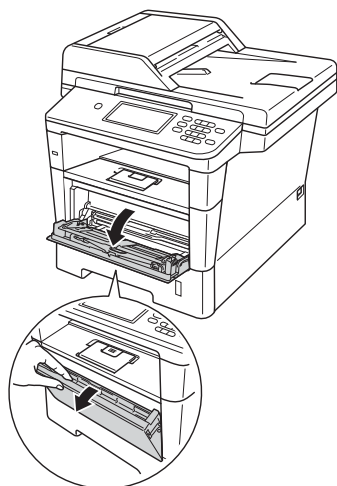
7 ハガキに印刷する場合、バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

8 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

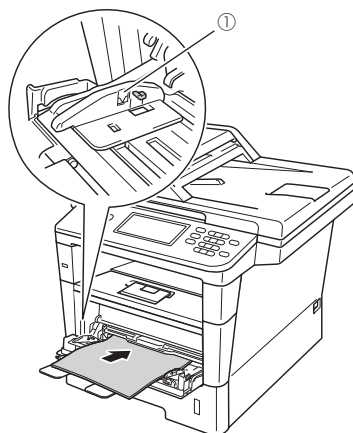
補足

紙づまりしないように印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

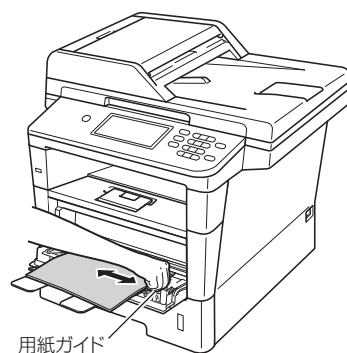
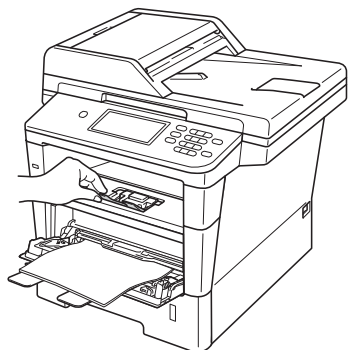
多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒は、多目的トレイ（MPトレイ）にセットしてください。

1 多目的トレイ（MPトレイ）を開ける

2 用紙ストッパーを引き出し、開く

3 印字面を上にして記録紙を入れる

補足

記録紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。記録紙をマーク①より上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。

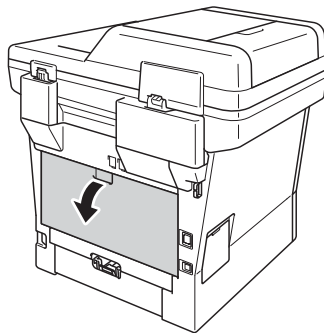
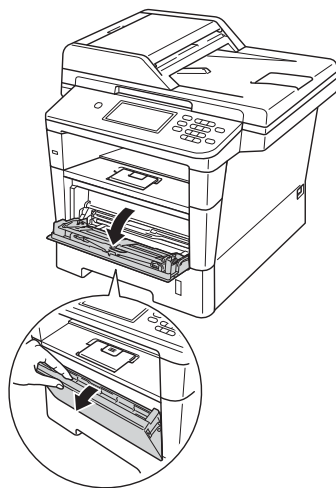
4 用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、印刷する記録紙サイズに合わせる

5 排紙ストッパーを開く

注意

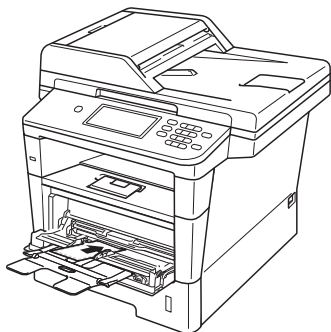
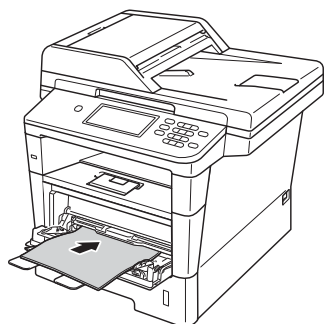
■印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた記録紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

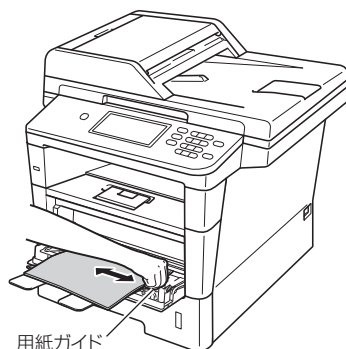
封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合

封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける

2 多目的トレイ（MPトレイ）を開ける

3 用紙ストッパーを引き出し、開く

4 印字面を上にして記録紙を入れる

補足

封筒は最大3 枚まで、厚紙（163g/m^{2}の場合）は最大25枚まで入れることができます。

5 用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、印刷する記録紙サイズに合わせる

6 印刷が終わったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

補足

紙づまりしないように印刷後は封筒をすぐに取り出してください。

セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

記録紙のタイプとサイズを変更する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプとサイズを選択します。

1 **【メニュー】→【基本設定】→【記録紙トレイ設定】を押す**

2 **【▲】または【▼】を押し、記録紙トレイを選択する**

3 **【◀】または【▶】を押し、記録紙サイズを選択する**

4 **記録紙の種類を選択する**

5 **<停止/終了>を押す**

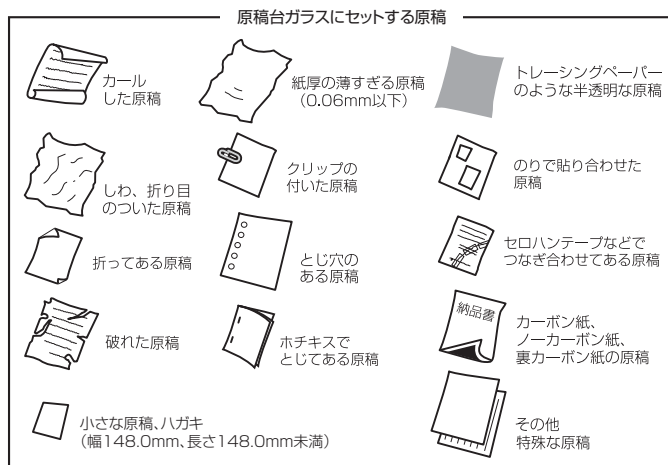
補足

- 記録紙サイズを【フリー】にする場合、記録紙トレイを【多目的トレイ】に設定してください。
- N in 1 コピーをする場合、記録紙サイズを【フリー】に設定することはできません。
- 記録紙トレイを【記録紙トレイ#2】（オプションの増設記録紙トレイ装着時）にする場合、【A5 L（A5（横置き））】、【A6】、【B6】、【ハガキ】を設定することはできません。

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やハガキ（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

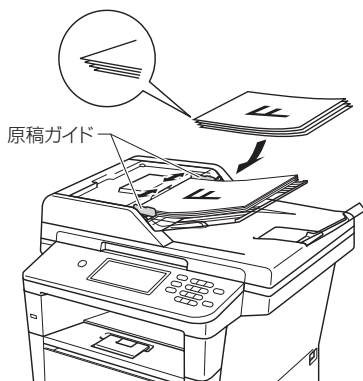
原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒67ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）にセットする

原稿は一度に50枚までセットできます。

1 原稿トレイと原稿ストッパーを開ける

2 原稿の読み取る面を上にしてイラストのように原稿の先端をずらし、原稿の先端が軽く当たるまで差し込む

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。

原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

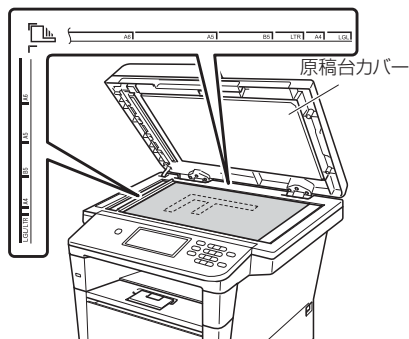
! 重 要

本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

注 意

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。

原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスやコピー、スキャンをする場合の原稿読み取りサイズを選択することができます。

1 【ファクス】を押す

2 【◀】または【▶】を押し【原稿台スキャンサイズ】を押す

3 読み取りサイズを選択する

4 <停止/終了>を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。
また、本製品はIPファクス※に対応しています。IPファクスを使ってファクス送信することができます。IPファクスを使ってのファクス送信の操作は、通常のファクス送信の操作と同じです。

※：IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があります。フレッツ光ネクストについてのご質問は、NTT にお問い合わせください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。
手動送信については、⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 【メモリがいっぱいです】が表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

STEP 1　ファクスモードに切り替える

【ファクス】を押してファクスモードに切り替えます。ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。

ファクスモードに切り替えると、液晶ディスプレイはファクス標準画面に切り替わります。

①：電話帳
②：両面ファクス
③：ファクス画質

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● **原稿台ガラスにセットする**

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送り方を設定します。

● 送信条件

■ 同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 海外へ送信する〔海外送信モード〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 送付書を付けて送信する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ IP ファクスを使ってファクス送信する
⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」

ただし、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。

・送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続している
⇒ 22 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」

・TCP/IP 設定の IP 取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されている
⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」

● 原稿読み取り

■ 画質　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 原稿濃度　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 原稿台ガラスの読み取りサイズ
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ 両面読み取り
両面原稿を送信するときは【両面ファクス】を押します。
また、原稿の読み取り方向を設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 宛先情報の表示

■ ファクス送信の宛先情報を液晶ディスプレイに表示する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、「STEP 4　宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

■ 本製品の電話帳に宛先を登録する
⇒ 46 ページ「電話帳の基本」

■ ワンタッチダイヤルを使用する
⇒ 39 ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」

■ 短縮ダイヤルを使用する
⇒ 39 ページ「短縮ダイヤルを使用する」

■ 電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ LDAP サーバー電話帳を使用する
本製品が LDAP サーバーと接続されている場合にのみ使用できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● その他

■ 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■ チェーンダイヤルを使用する ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

< スタート > を押して、ファクスを開始します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

< スタート > を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が 1 枚のとき

  【いいえ】、または < スタート > を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が複数枚のとき

  【はい】を押して、次の原稿をセットした後 < スタート > を押します。

  この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または < スタート > を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき
< 停止 / 終了 > →【はい】を押します。

ワンタッチダイヤルを使用する

<タッチダイヤル>を押したあと、ワンタッチボタン（1～32）を押すだけで、登録されているファクス番号やEメールアドレスを指定することができます。ワンタッチダイヤルには最大32件登録できます。

- 1～16を指定するとき
  ワンタッチボタンを押します。
- 17～32を指定するとき
  *17-*32 を押します。

補足

ワンタッチダイヤルの登録のしかたは⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

を押した後、短縮番号（001～300）を押すだけで、登録されているファクス番号やEメールアドレスを指定することができます。短縮ダイヤルには最大300件登録できます。

補足

短縮ダイヤルの登録のしかたは⇒47ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック>を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 **ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする**

2 **< オンフック > を押して、相手先のファクス番号を入力する**

3 **相手先の受信音（ピー）を確認して<スタート>を押す**

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で【送信】を押します。

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

1 **<停止/終了>→【はい】を押す**

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信するメモリ受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

補足

ファクス受信に使用できる記録紙のサイズは、A4、USレター、リーガル、またはフォリオです。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の 4 つの種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒ 41 ページ「受信モードの種類」

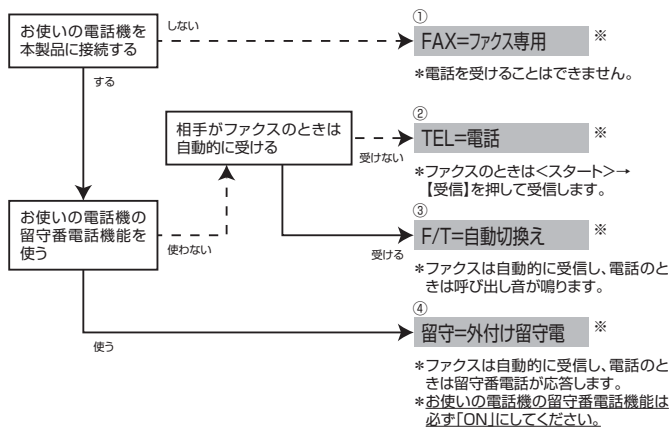
● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

① ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

② 電話モード

③ 自動切換えモード

④ 外付け留守電モード

※：受信モード設定時、液晶ディスプレイに表示される選択項目です。

STEP 2　受信モードを設定する

STEP 1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒ 45 ページ「受信モードを設定する」

STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

■自動的に縮小して印刷する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■印刷の濃さを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信スタンプを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信したファクスを両面印刷する　⇒ 45 ページ「受信したファクスを両面印刷する」

受信モードの種類

ファクス専用モード

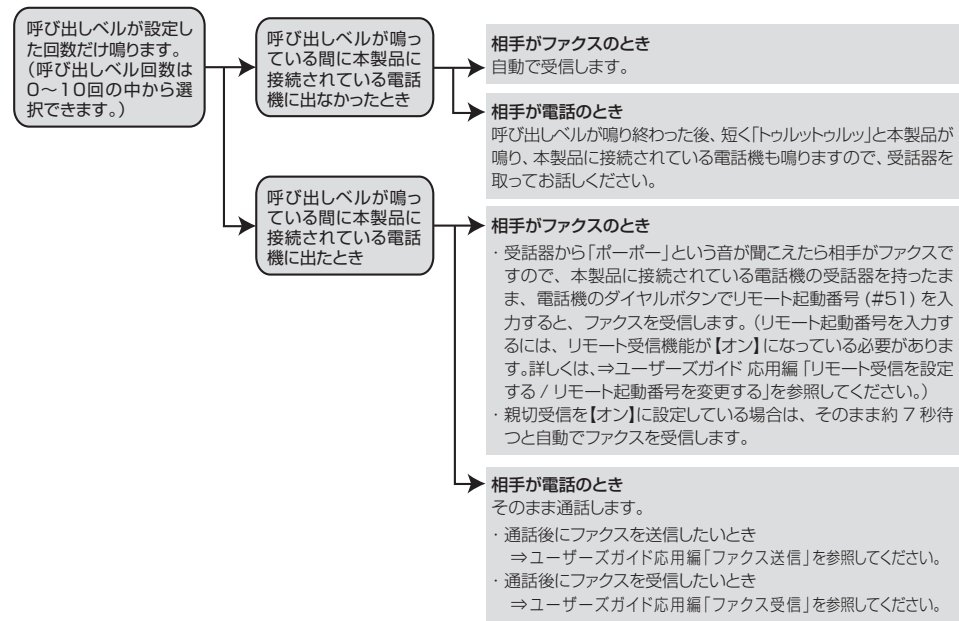
本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

補足

● ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。

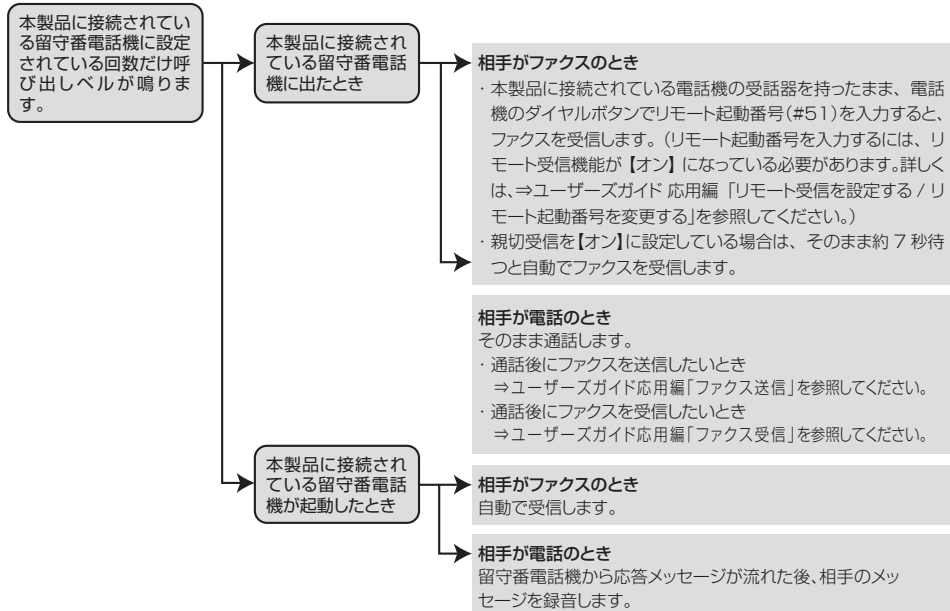
● 呼び出し回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出し回数を0回か1回に設定してください。呼び出し回数の設定のしかたは⇒45ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、< スタート > →【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド応用編「さまざまな受信方法」
- 呼び出し回数の設定のしかたは⇒45ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒ユーザーズガイド応用編「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは < スタート > →【受信】を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→【受信】を押してください。
- 呼び出し回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出し回数を 6 回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話によっては電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出し回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。

注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1〜2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

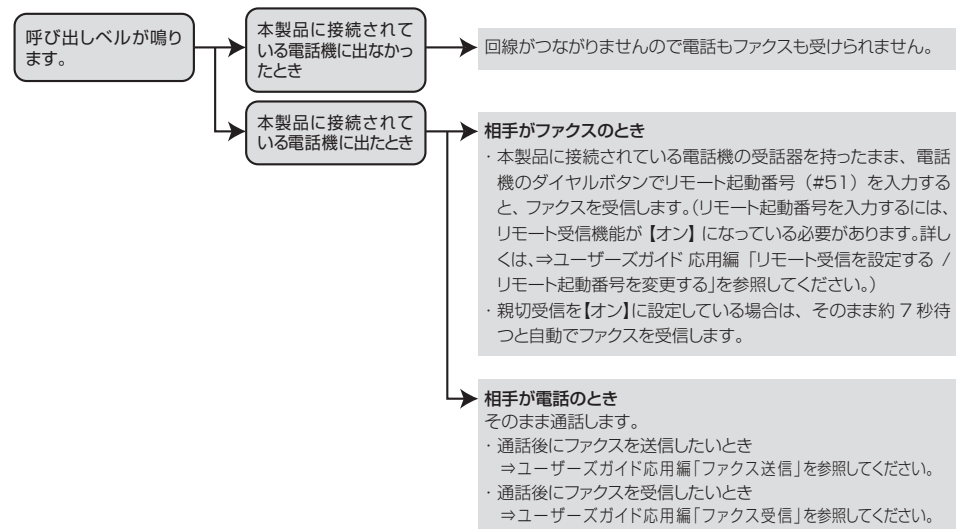
補足

● ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、< スタート > →【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→【受信】を押してください。
ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド応用編「親切受信で受信する」
- リモート受信　⇒ユーザーズガイド応用編「リモート受信の操作のしかた」
- 自動受信　⇒ユーザーズガイド応用編「さまざまな受信方法」

● メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。

● 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。

補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド　応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、< スタート > →【受信】を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→【受信】を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→【受信】を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTT とキャッチホンまたはキャッチホン II の契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホン II サービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください)。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をおすすめします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※ :「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 **【メニュー】→【▲】または【▼】で【初期設定】→【受信モード】を押し、受信モードを選択する**

2 **<停止/終了>を押す**

補足

● 選択した受信モードは、待機画面で【ファクス】を押すと画面右下に表示されます。

●【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼び出し回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【呼出回数】を押す**

2 **呼出回数を選ぶ**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

● 呼び出し回数は、0 回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出し回数を0回か1回に設定してください。

● 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出し回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。

● 呼び出し回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出し回数を6回以下に設定されることをおすすめします。

● 受信モードが【FAX= ファクス専用】や【F/T= 自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。

● ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出し回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【再呼出回数】を押す**

2 **再呼び出し回数を選ぶ**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力するとき、両面印刷するように設定できます。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）のみです。

1 **【メニュー】→【ファクス】→【受信設定】→【▲】または【▼】で【両面印刷】を押す**

2 **【オン】を選択する**

3 **<停止/終了>を押す**

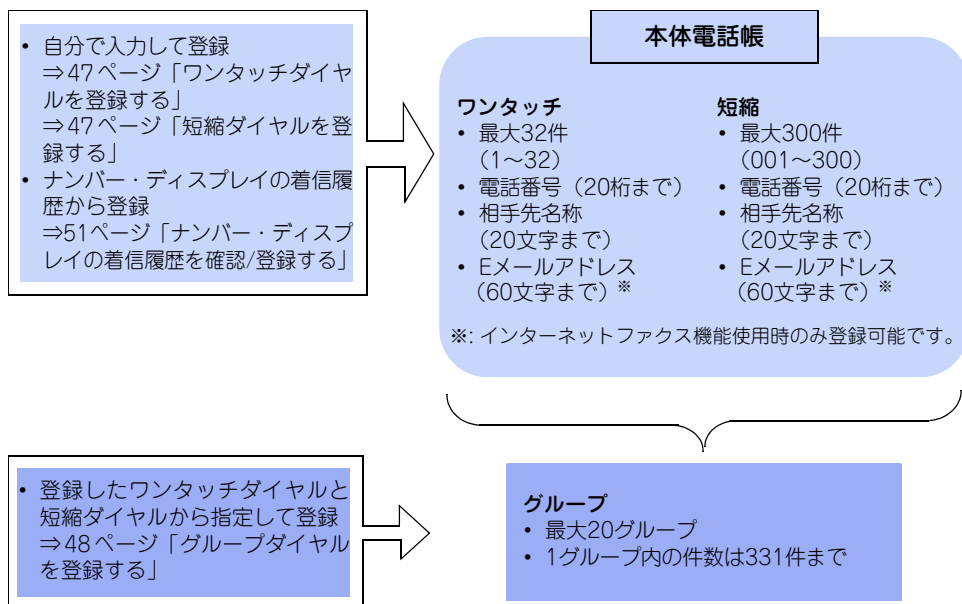
補足

両面印刷を【オン】にすると【自動縮小】の設定に関係なく、内部的に【自動縮小】が【オン】と同じ状態で印刷されます。

電話帳の基本

電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。
本製品の電話帳に相手先の情報を登録するには、以下の図のようにワンタッチ、短縮のいずれかに登録する必要があります。
グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。
電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド応用編「ファクス送信」を参照してください。
また、本製品はインターネットファクス機能※ に対応しております。インターネットファクス機能を使用することにより、LDAPサーバーを使用したり、インターネット経由でファクス送信することができます。

※：インターネットファクス機能の詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

また本製品は、ネットワーク上のLDAPサーバーに直接アクセスし、電話帳データーを流用することができます。本体電話帳の登録件数を気にせずに相手先を指定できます。

電話帳に登録する

注意

■電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。

■電話番号およびファクス番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号およびファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

■登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

補足

● ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に<＊>を押してください。

● 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド応用編「文字を入力する」を参照してください。

● 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザー設定から登録することもできます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

● ポーズを入力するには、【ポーズ】を押します。液晶ディスプレイに【p】が表示されます。

● 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド応用編「レポート・リストの種類」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号または60文字までのEメールアドレスと、漢字10文字（かな20文字）までの相手先の名称を最大32件登録することができます。

1 **< タッチダイヤル > →登録するワンタッチボタンを押して、【はい】を押す**

- 17～32に登録するときは、液晶ディスプレイの *17-*32 を押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合は、送信画面が表示されます。登録内容を変更する場合は⇒52ページ「電話帳を変更する」を参照してください。
- [電話帳] →【編集】→【ワンタッチダイヤル登録】からも登録することができます。

2 **必要な情報を登録する**

⇒49ページ「電話帳登録手順」＞「ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルの場合」を参照してください。

3 **登録内容を確認し【OK】を押す**

4 **<停止/終了>を押す**

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号または60文字までのＥメールアドレスと、相手先の名称を、最大300件登録することができます。

1 **[電話帳] →【編集】→【短縮ダイヤル登録】を押す**

2 **必要な情報を登録する**

⇒49ページ「電話帳登録手順」＞「ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルの場合」を参照してください。

3 **登録する短縮番号（001～300）を入力して【OK】を押す**

4 **登録内容を確認し【OK】を押す**

5 **<停止/終了>を押す**

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。
送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。グループダイヤルは、最大20グループ登録することができます。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号またはＥメールアドレスをそのままグループダイヤルに登録することはできません。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法については⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」、⇒47ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

1 →【編集】を押す

2 短縮ダイヤルに登録する場合は、【グループ登録（短縮）】を押す
ワンタッチダイヤルに登録する場合は、【グループ登録（ﾜﾝﾀｯﾁ）】を押す

3 登録したい短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルの番号を入力し、【OK】を押す

すでに登録されている番号を入力しても【OK】は押せません。

4 必要な情報を登録する

⇒50ページ「電話帳登録手順」＞「グループダイヤルの場合」を参照してください。

5 登録内容を確認し【OK】を押す

6 <停止/終了>を押す

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

電話帳登録手順

ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルの場合

ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3※	ステップ 4	ステップ 5	ステップ 6
名前を入力	ヨミガナを入力	登録種別を選択	番号/アドレスを入力	画質/解像度を選択	PDFタイプを選択
漢字10文字 （かな20文字） まで	15文字まで	ファクス/電話	ファクス番号 （20桁まで）	標準 ファイン スーパーファイン 写真	
		インターネット ファクス	Eメールアドレス （60文字まで）	標準 ファイン 写真	
		Eメール モノクロ PDF		300dpi 200dpi 200 X 100dpi	PDF PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF
		Eメール モノクロ TIFF			
		Eメール カラー PDF		100dpi 200dpi 300dpi 600dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF
		Eメール カラー JPEG			
		Eメール カラー XPS			
		Eメール グレー PDF		100dpi 200dpi 300dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティ PDF 電子署名付PDF
		Eメール グレー JPEG			
		Eメール グレー XPS			

※：着信履歴から登録する場合は、この手順は不要です。

グループダイヤルの場合

<table>
<tr><th>ステップ 1</th><th>ステップ 2</th><th>ステップ 3</th><th>ステップ 4</th><th>ステップ 5</th><th>ステップ 6</th><th>ステップ 7</th></tr>
<tr><td>グループ名を入力</td><td>ヨミガナを入力</td><td>グループ番号を入力</td><td>登録種別を選択</td><td>番号/アドレスを選択</td><td>画質/解像度を選択</td><td>PDFタイプを選択</td></tr>
<tr><td rowspan="9">漢字10文字
(かな20文字)
まで</td><td rowspan="9">15文字まで</td><td rowspan="9">01～20
(最大20
グループ)</td><td>ファクス/IFAX</td><td rowspan="9">リストから
選択
(最大331件)</td><td>標準
ファイン
スーパーファイン
写真</td><td></td></tr>
<tr><td>Eメール
モノクロ PDF</td><td rowspan="2">300dpi
200dpi
200 X 100dpi</td><td>PDF
PDF/A
セキュリティPDF
電子署名付PDF</td></tr>
<tr><td>Eメール
モノクロ TIFF</td><td></td></tr>
<tr><td>Eメール
カラー PDF</td><td rowspan="3">100dpi
200dpi
300dpi
600dpi
自動</td><td>PDF
PDF/A
セキュリティPDF
電子署名付PDF</td></tr>
<tr><td>Eメール
カラー JPEG</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>Eメール
カラー XPS</td></tr>
<tr><td>Eメール
グレー PDF</td><td rowspan="3">100dpi
200dpi
300dpi
自動</td><td>PDF
PDF/A
セキュリティPDF
電子署名付PDF</td></tr>
<tr><td>Eメール
グレー JPEG</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>Eメール
グレー XPS</td></tr>
</table>

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する⇒ユーザーズガイド応用編「レポート・リストを印刷する」

1 を押しながら<1>を押す

2 着信履歴から電話番号を選択する

確認の場合は、確認を終えたら手順6へ進んでください。

3 【編集】を押す

4 登録する電話帳（ワンタッチ / 短縮）を選ぶ

5 ⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」または「短縮ダイヤルを登録する」に準じて必要な情報を登録する

6 <停止/終了>を押す

補足

【外付け電話優先】でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

電話帳を編集する

電話帳を変更する

1 <タッチダイヤル>→【編集】→【変更】を押す

補足
→【編集】→【変更】からも変更することができます。

2 一覧から変更する番号を選択する

3 変更したい内容（名前、番号/アドレス、解像度、ヨミガナ）を選択する

4 内容を変更し【OK】を押す

5 必要に応じて手順3、4を繰り返す

6 変更内容を確認し【OK】を押す

7 <停止/終了>を押す

電話帳を消去する

1 <タッチダイヤル>→【編集】→【削除】を押す

補足
→【編集】→【削除】からも削除することができます。

2 一覧から消去する番号を選択し、【OK】を押す

3 【はい】を押す

4 <停止/終了>を押す

コピーの基本

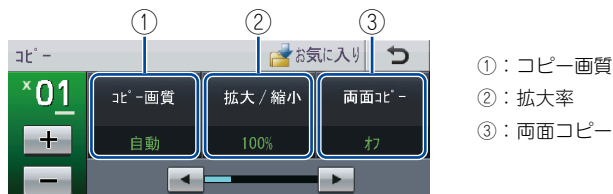
コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　コピーモードに切り替える

液晶ディスプレイの【コピー】を押してコピーモードに切り替えます。コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。

コピーモードに切り替えると、液晶ディスプレイはコピー標準画面に切り替わります。

①：コピー画質
②：拡大率
③：両面コピー

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、ディスプレイに【原稿ｾｯﾄOK】が表示されます。

● **原稿台ガラスにセットする**

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　部数を入力する

部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。
また【+】、【−】でも部数を変更できます。

コピー部数を取り消したいとき
＜停止 / 終了＞を押します。

STEP 4　コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上りかたを設定します。

⇒ 55 ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー　⇒ 56 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
■両面コピー　⇒ 56 ページ「両面コピーをする」
■レイアウトコピー（N in 1 コピー）⇒ 57 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」
■2 in 1ID コピー　⇒ 58 ページ「2 in 1 ID コピーをする」
■記録紙タイプ設定　⇒ 32 ページ「記録紙のタイプとサイズを変更する」
■記録紙サイズ設定　⇒ 32 ページ「記録紙のタイプとサイズを変更する」
■記録紙トレイ設定　⇒ 59 ページ「記録紙トレイを設定する」

● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大･縮小コピー　⇒ 56 ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■画質　⇒ 59 ページ「画質を設定する」
■明るさ　⇒ 59 ページ「明るさを設定する」
■コントラスト　⇒ 60 ページ「コントラストを設定する」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

＜スタート＞を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

＜スタート＞を押します。

コピーを途中で中止したいとき
＜停止 / 終了＞を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。
設定には、自分がコピーするときだけ一時的に設定するものと、設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするものの2種類があります。

分類	機能	一時的な設定（操作）	保存する設定（操作）	参照
倍率	拡大/縮小	【コピー】→ 【拡大/縮小】	–	⇒56ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	【コピー】→ 【スタック/ソート コピー】	–	⇒56ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	【コピー】→ 【両面コピー】	–	⇒56ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	【コピー】→ 【レイアウト コピー】→ レイアウト	–	⇒57ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」
	2 in 1 IDコピー	【コピー】→ 【レイアウト コピー】→ 【2in1(ID)】	–	⇒58ページ「2 in 1 IDコピーをする」
	トレイ選択	【コピー】→ 【トレイ選択】	【メニュー】→ 【基本設定】→ 【記録紙トレイ設定】→ 【トレイ選択：コピー】	⇒59ページ「記録紙トレイを設定する」
質	画質	【コピー】→ 【コピー画質】	【コピー】→ 【設定を保持する】	一時的な設定 ⇒59ページ「画質を設定する」 保存する設定 ⇒60ページ「コピーの設定内容を保存する」
	明るさ	【コピー】→ 【明るさ】		一時的な設定 ⇒59ページ「明るさを設定する」 保存する設定 ⇒60ページ「コピーの設定内容を保存する」
	コントラスト	【コピー】→ 【コントラスト】		一時的な設定 ⇒60ページ「コントラストを設定する」 保存する設定 ⇒60ページ「コピーの設定内容を保存する」

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 **【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **【拡大/縮小】を押し、倍率を選択する**

【カスタム】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して【OK】を押してください。

3 **<スタート>を押す**

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

１部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。

ソートコピー

1 **【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **【◀】または【▶】で【スタック/ソート コピー】を選択し、【ソート】を押す**

3 **<スタート>を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットした後、<スタート>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

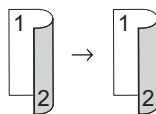
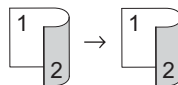
補足

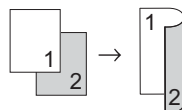
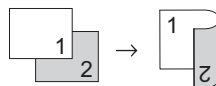
原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】が表示されたときは⇒95 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

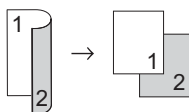
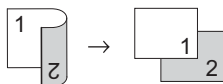
両面コピーをする

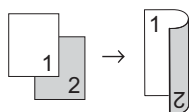
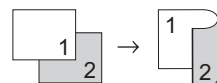
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをおすすめします。
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

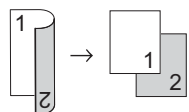
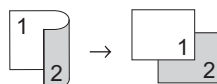
両面→両面

縦

横

片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

横

両面→片面 長辺綴じ原稿

縦

横

片面→両面 短辺綴じ原稿

縦

横

両面→片面 短辺綴じ原稿

縦

横

1 **【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **【両面コピー】を押す**

3 **【◀】または【▶】でコピー方法を選択する**

4 **<スタート>を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットした後、<スタート>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

補足

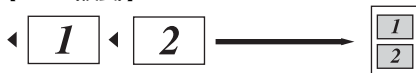
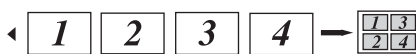
原稿台ガラスからの両面コピーは、「片面→両面」のみです。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕

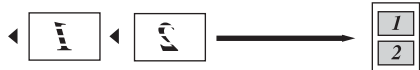
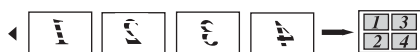
2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。
コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

2 in 1 IDコピーの場合は、⇒58ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）の場合

【2in1（縦長）】

【4in1（縦長）】

【4in1（横長）】

原稿台ガラスの場合

1 【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【レイアウト コピー】を押し、レイアウトを選択する

3 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は【はい】を押して、次の原稿をセットした後、<スタート>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】を押します。

補足

- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「Ａ４」または「ＵＳレター」がセットされていることを確認してください。

2 in 1 IDコピーをする

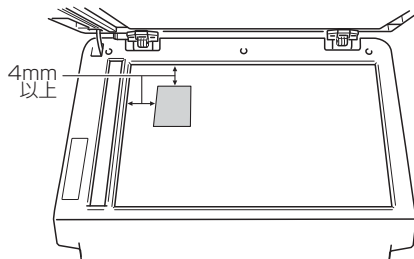
ID カードや身分証明書などカードサイズの裏表を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

補足

IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには十分、注意してください。

1 【コピー】を押し、部数を入力する

2 原稿台ガラスの左側に、裏向きにして印刷するカードをおく

イラストのように、原稿台ガラスの左上に、端から4mm以上空けてカードをセットしてください。

3 【◀】または【▶】で【レイアウト コピー】を押す

4 【◀】または【▶】で【2in1(ID)】を押す

補足

【2in1(ID)】を選択すると、画質の設定は【写真】、コントラストの設定は【−□□□□■+】になります。

5 <スタート>を押す

カードの片面のスキャンが終わると、ディスプレイに【ＩＤカードを裏返してください　スタートキーを押してください】が表示されます。

6 原稿台ガラスのカードを裏返して<スタート>を押す

記録紙トレイを設定する

一時的に設定する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【トレイ選択】を押し、トレイを選択する

3 <スタート>を押す

補足

- 【A>B】を選択すると、A トレイ、B トレイの順に記録紙を給紙します。
- 【#2】は、オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときに表示されます。

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 【メニュー】を押す

2 【▲】または【▼】で【基本設定】を押す

3 【▲】または【▼】で【記録紙トレイ設定】を押す

4 【▲】または【▼】で【トレイ選択：コピー】を押し、トレイを選択する

5 <停止/終了>を押す

画質を設定する

【画質】の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【テキスト】：
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 【写真】：
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 【カーボン】：
  カーボン紙の文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する

2 【コピー画質】を押し、画質を選択する

3 <スタート>を押す

明るさを設定する

「明るさ」の設定を変更します。
明るさは以下のように設定することができます。

- 【▶】
  明るくなります。
- 【◀】
  暗くなります。

一時的に設定する

一時的に明るさを変えてコピーすることができます。

1 【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【明るさ】を押す

3 【◀】または【▶】で明るさを選択して、【OK】を押す

【◀】を押すと暗くなり、【▶】を押すと明るくなります。

4 <スタート>を押す

コントラストを設定する

「コントラスト」の設定を変更します。
コントラストは以下のように設定することができます。

- 【▶】
  原稿の濃淡がよりはっきりとなります。
  (濃い部分はより濃く、薄い部分はより薄くなります。)
- 【◀】
  原稿の濃淡の差が少なくなります。
  (濃い部分と薄い部分の差がなくなり、同じような濃淡になります。)

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 【コピー】を押し、原稿をセットした後、部数を入力する

2 【◀】または【▶】で【コントラスト】を押す

3 【◀】または【▶】でコントラストを選択して、【OK】を押す

4 <スタート>を押す

コピーの設定内容を保存する

以下の手順で「画質」、「明るさ」、「コントラスト」の設定内容を保存することができます。
設定内容を保存すると、いつでも設定した内容でコピーできます。

1 【コピー】を押す

2 必要に応じて【◀】または【▶】で初期値にしたい設定を変更する

変更したい各設定についてはこの手順を繰り返してください。

3 最後の設定を変更後、【◀】または【▶】で【設定を保持する】を選択する

4 【はい】を押す

変更した設定が初期値として保存されます。

5 <停止/終了>を押す

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

コンピューターを使用しないで、USBメモリから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定や USB ハブ機能付きの USB メモリなど、ご使用の USB メモリによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマスストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラをマスストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続することにより、デジタルカメラ内のメモリカードをUSBメモリと同様に記憶装置として認識します。本製品の操作パネルを操作して写真データを印刷してください。
- セキュリティ機能ロック 2.0 が【オン】※の場合は、USB ダイレクトプリントを使用することができません。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「使用できる機能を制限する［セキュリティ機能ロック2.0］」を参照してください。

  ※：USBダイレクトプリントが制限されているときのみ

STEP 1　データ形式を確認する

USB ダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN 形式の場合は、STEP 4 で印刷の設定をすることができません。

- PDF version1.7（JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルは未対応です。）
- JPEG
- Exif+JPEG
- PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）
- TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）
- XPS version1.0 形式

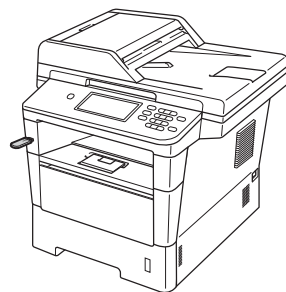
ポイント

PRN 形式のファイルを保存したいとき

プリンタードライバー画面で［ファイルへ出力］項目にチェックを付けます。

STEP 2　USB メモリを本製品に接続する

USB メモリを USB メモリ差込口に接続します。本製品が USB メモリを認識すると、USB ダイレクトプリントモードに切り替わり、液晶ディスプレイに選択メニューが表示されます。

- 本製品がディープスリープモードのときは、USB メモリを接続しても認識しません。<停止/終了>を押して待ち受け状態にしてください。

STEP 3　印刷するフォルダーやデータを選択する

【USBダイレクトプリント】を押して、【▲】または【▼】でフォルダーやデータを選択します。

● **操作方法**

・フォルダー内を表示するときは、「フォルダー名 / データ名」を押します。

・一つ上の階層に戻るときは、　を押します。

● **フォルダー名やデータ名の表示**

・フォルダー名の前に　が表示されます。

・液晶ディスプレイに表示できない特殊な文字は【?】が表示されます。

STEP 4　印刷内容を設定する

● **プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタン、または【+】、【−】で入力する**

【テンポラリ印刷設定】を押し、【▲】または【▼】で以下の設定項目を選択します。

・記録紙サイズ

・記録紙タイプ

・レイアウト

・印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）

・両面印刷：
JPEG 形式選択時は設定できません。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ
（60g/m^2 ～ 105/m^2）のみです。

・部単位

・トレイ選択

・プリント画質

・PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

印刷内容をあらかじめ設定したいとき

操作パネルからのメニューで設定しておくことができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「USB ダイレクトプリント」を参照してください。

STEP 5　プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

● **STEP 4「印刷内容を設定する」で【テンポラリ印刷設定】をしたときは、　で 1 つ前の画面に戻ります。**

● **< スタート > を押す**

【デバイスを抜かないで下さい】というメッセージが表示されている間は、USB メモリを抜かないでください。

● **< 停止 / 終了 > を押す**

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属のドライバー＆ソフトウェアCD－ROMの中にあるプリンタードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 2　コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

STEP 4　印刷内容を設定する

［プロパティ］ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し［OK］をクリックします。

用紙サイズ、印刷の向き、部数、用紙種類、解像度、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 5　プリントを開始する

［OK］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の 2 つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP 2 から操作してください。

● **スキャナードライバーをインストールする**

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

● **ネットワークを設定する**

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は本製品に TCP/IP を設定します。

⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークの設定」

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特長によってスキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。また、自動両面スキャンもできます。

● **原稿台ガラスにセットする**

1 枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　スキャンモードに切り替える

液晶ディスプレイの【スキャン】を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5　スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

・スキャン to USB

・スキャン to ネットワークファイル※1

・スキャン to FTP

・スキャン to E メール

・スキャン to PC
（E メール／イメージ／ OCR ／ファイル）

・Web サービス スキャン※2

※ 1: Windows® のみ
※ 2: Windows Vista® SP2 以降、または Windows® 7 のみ

STEP 6　保存先／送信先を選択する

・スキャンしたデータの保存先／送信先を選択します。USB 接続の場合は保存先の選択は必要ありません。

・必要に応じて画質やファイル名、両面スキャンの読み取り（ADFに原稿をセットした場合）などを設定します。

STEP 7　スキャンを開始する

＜スタート＞を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4　アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5　スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで解像度、明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6　スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをおすすめします。
• 記録紙トレイ　• 原稿台ガラス　• ドラムユニット　• コロナワイヤー　• 給紙ローラー

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

本製品外部を清掃する

! 重要

■ 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■ アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

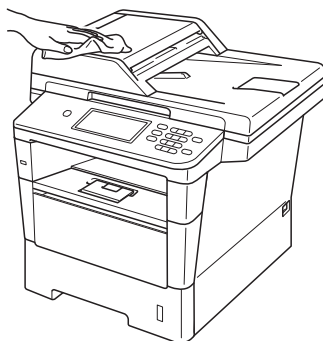
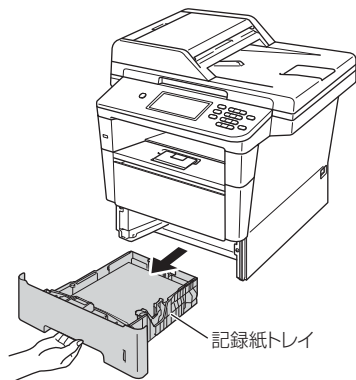
■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

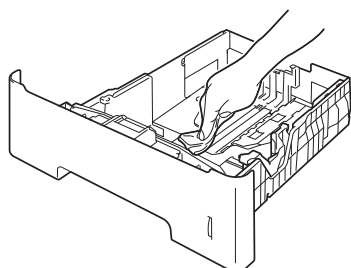
1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

3 本製品の外側を拭く

4 記録紙トレイを完全に引き出す

5 記録紙トレイから記録紙を取り出す

記録紙トレイ内につまった記録紙がある場合は取り除いてください。

6 記録紙トレイの内側と外側を拭く

7 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

8 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

9 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

警 告

ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

! 重 要

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

補足

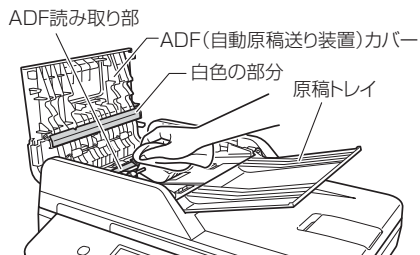
清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

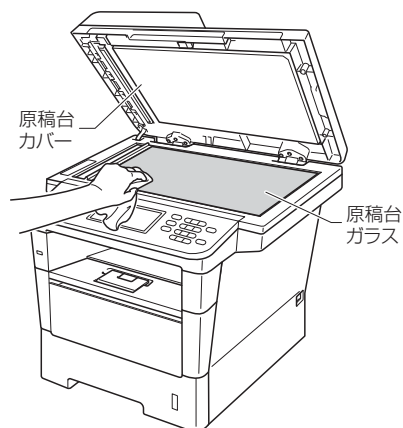
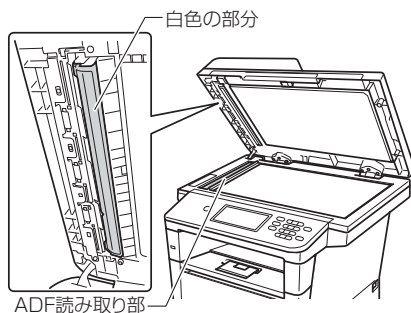
3 原稿トレイと ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

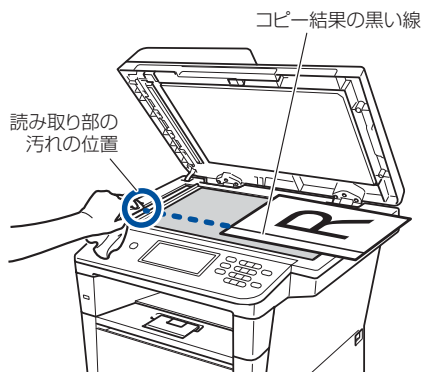
4 ADF（自動原稿送り装置）カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く

5 ADF（自動原稿送り装置）カバーと原稿トレイを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

6 原稿台カバーを開く

7 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

2 原稿台カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く

注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。

■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

8 原稿台カバーを閉じる

9 コードやケーブルを元の状態に戻す

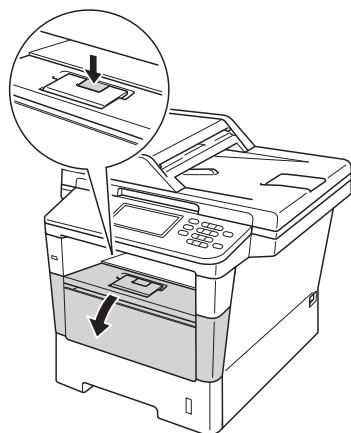
1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

10 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

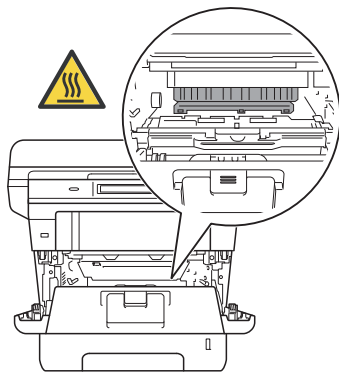
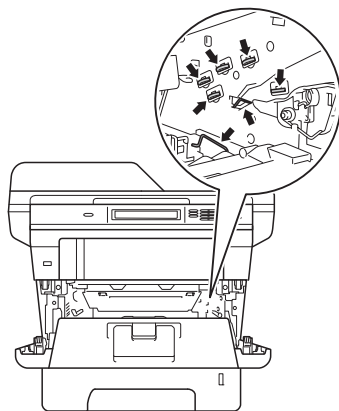
1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを取り出す

警告

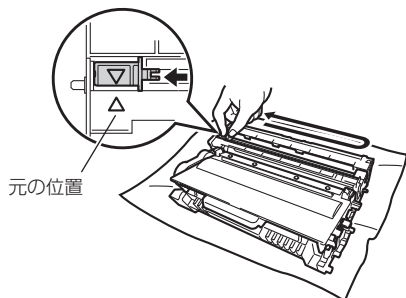
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

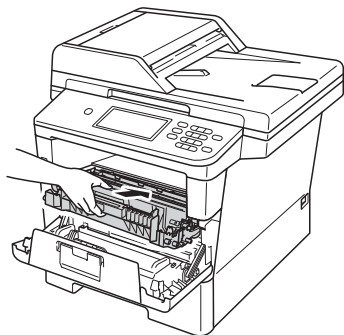
本製品内部（前面）

重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

4 清掃する

1 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

2 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す

元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す

2 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 ドラムチェックシートを印刷する

1 本製品が待機状態であることを確認する

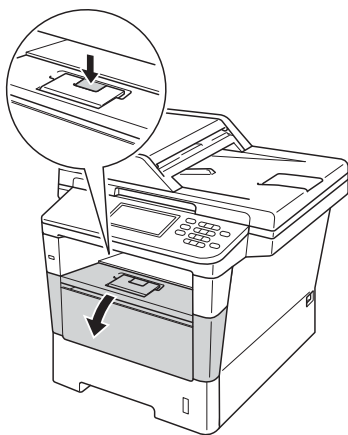
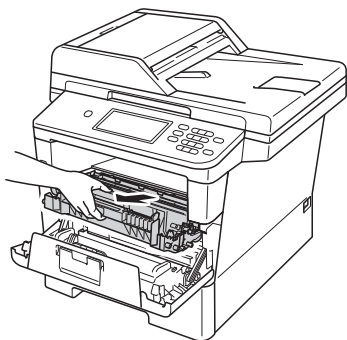
2【メニュー】→【レポート印刷】→【ドラム汚れ印刷】を押し<スタート>を押す

ドラムチェックシートが印刷されます。

2 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

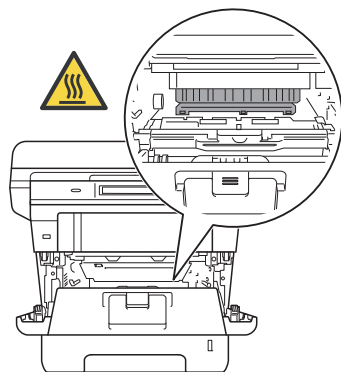
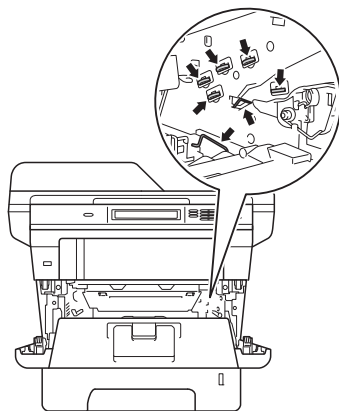
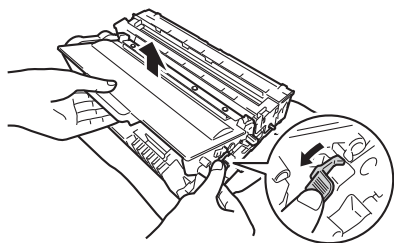
3 本製品が冷めたら、電源スイッチをOFFにする

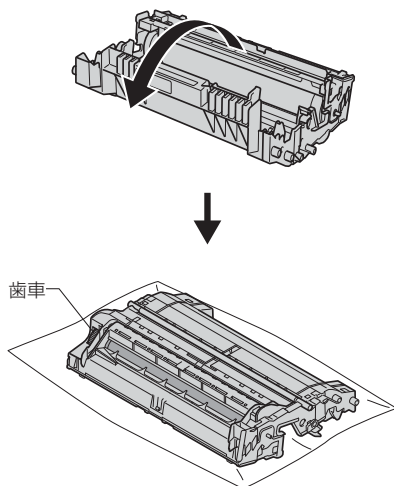
4 ドラムユニットを取り出す

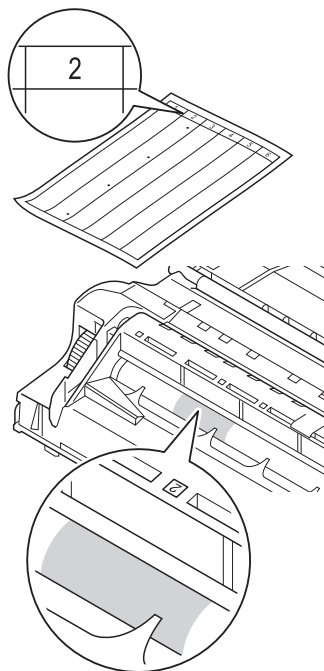
1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

2 **ドラムユニットを取り出す**

警告

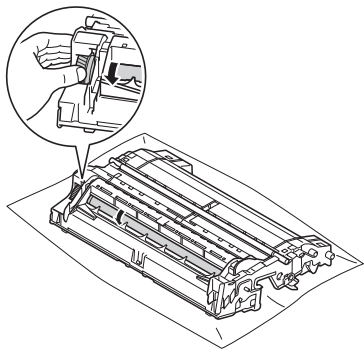
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

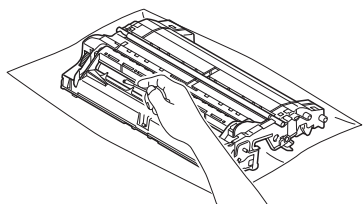
本製品内部（前面）

重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

3 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

5 清掃する

1 イラストのように、ドラムユニットの歯車が左側になるようにドラムユニットを裏返す

2 印刷したドラムチェックシートを確認する
該当する番号を確認します。

3 ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットのコラム番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探す
感光ドラムの汚れの場所を特定します。

補足
例）イラストのように、ドラムチェックシートの「2」の溝に点がある場合は、ドラムユニットのコラム番号「2」の範囲内の感光ドラム上に汚れがあります。

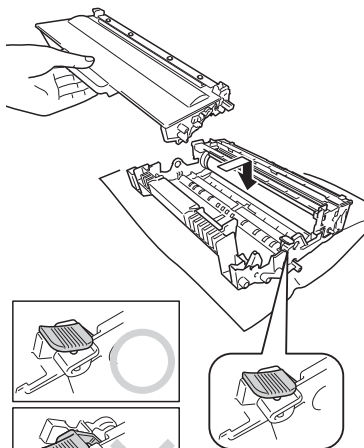
4 **ドラムユニットの歯車を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にする**
感光ドラムの汚れの場所を確定します。

補足
ドラムユニットの歯車側の側面に、ドラムの回転方向の矢印があります。矢印の方向にゆっくり回してください。

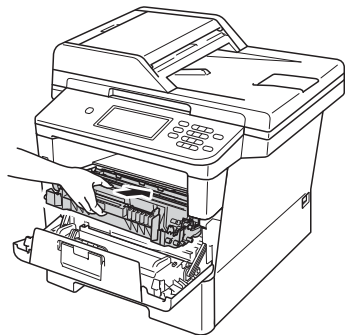
5 **感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る**

! 重 要

- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- 感光ドラムの表面をとがったもので拭かないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

6 ドラムユニットを裏返す

7 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。

8 元の状態に戻す

1 **ドラムユニットを本製品に戻す**

2 **フロントカバーを閉じる**

9 電源スイッチをONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

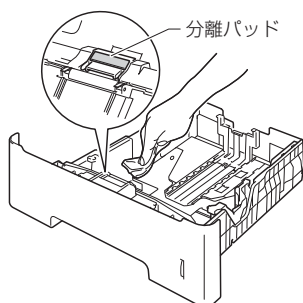
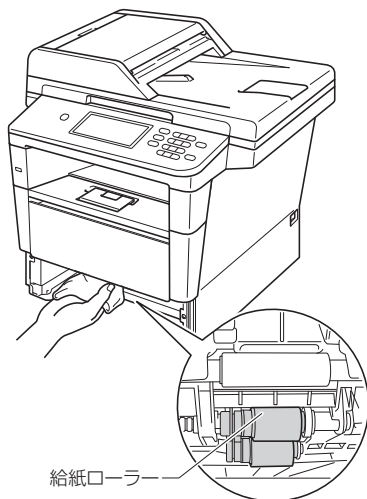
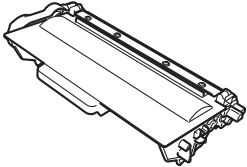
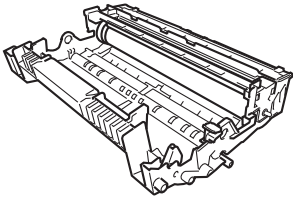
1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

3 記録紙トレイを完全に引き出す

4 清掃する

1 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く

2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く

5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

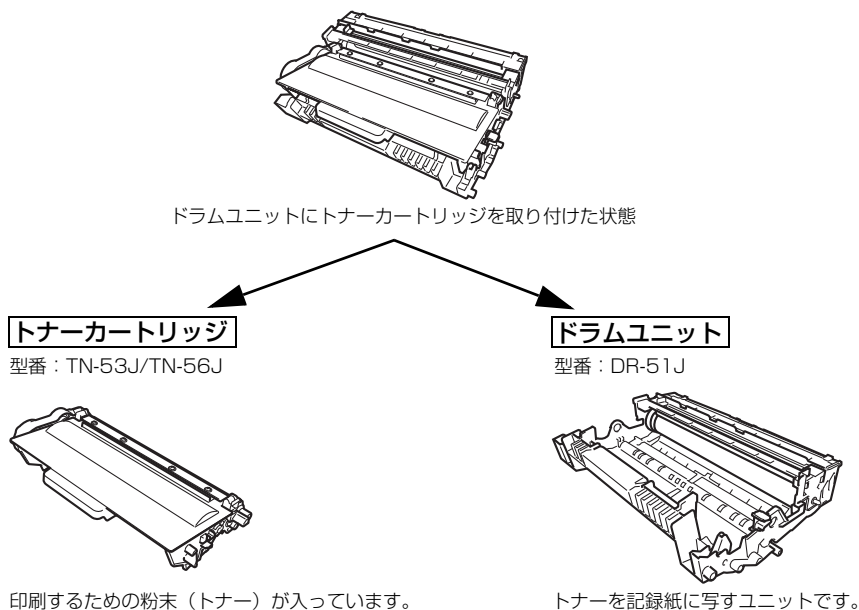
7 電源スイッチをONにする

消耗品の交換

消耗品

トナーカートリッジ （TN-53J/TN-56J）	ドラムユニット （DR-51J）
⇒80ページ	⇒85ページ

トナーカートリッジとドラムユニットについて

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。

交換のしかたについては、⇒80ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒85ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

補足

本製品に付属のトナーカートリッジは、約3,000枚※印刷できます。
標準トナーカートリッジ（TN-53J）は、約3,000枚※印刷できます。
大容量トナーカートリッジ（TN-56J）は、約8,000枚※印刷できます。
ドラムユニット（DR-51J）は約30,000枚印刷できます。
※：印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）*規格に基づく公表値を満たしています。

＊JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。

●ご注文先

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット：http://direct.brother.co.jp
携帯サイト　　：右の二次元コードにアクセス
フリーダイヤル：０１２０－１１８－８２５
（土･日･祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

⚠ 警 告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

⚠ 注 意

■ トナーをまき散らして、目に入ったりしないように注意してください。

■ 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

! 重 要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。

■ トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

■ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（型番：TN-53J/TN-56J）をご使用ください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（型番：DR-51J）をご使用ください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。また、お使いになる純正品以外のトナーカートリッジによっては正しく検知されず、トナー容量に関係なく標準トナーとして検知される場合があります。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒23ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒23ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

※: 新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒23ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーカートリッジが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくﾄﾅｰ交換

補足

● 液晶ディスプレイに【まもなくﾄﾅｰ交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【ﾄﾅｰ交換】が表示される前に準備しておいてください。

● 印刷結果がかすれる場合は、トナーカートリッジ内のトナーを均等にするために、両手でドラムユニット（トナーカートリッジを装着したまま）を持ち、数回左右にゆっくりと振ってください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

ﾄﾅｰ交換

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

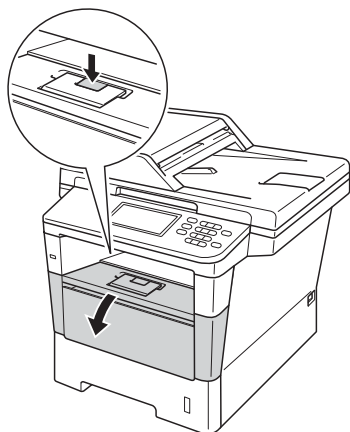
補足

● トナーの寿命は、トナーがなくなった場合やトナーが劣化した場合に検知され、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。

● お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒78ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

3 トナーカートリッジを取り出す

1 ドラムユニットを取り出す

⚠ 警 告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（前面）

! 重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

2 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

! 重 要

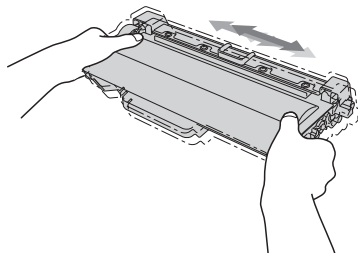
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

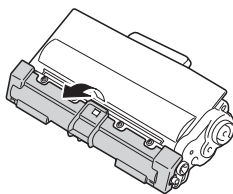
4 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5～6回ゆっくりと振る

! 重 要

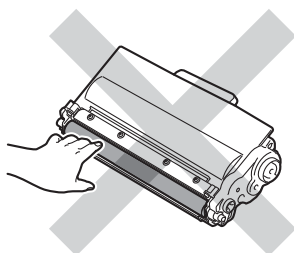
- トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
  純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。また、お使いになる純正品以外のトナーカートリッジによっては正しく検知されず、トナー容量に関係なく標準トナーとして検知される場合があります。

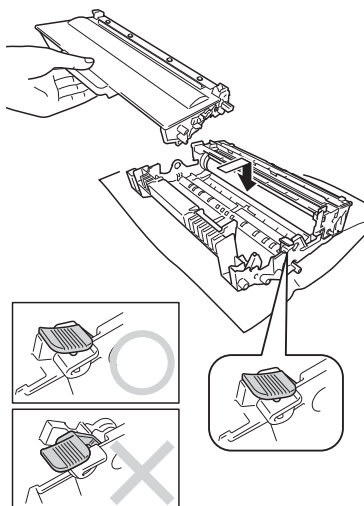
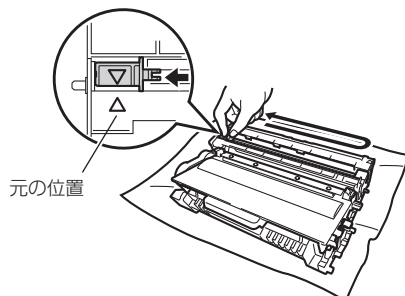
注 意

トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

2 保護カバーを取り除く

! 重 要

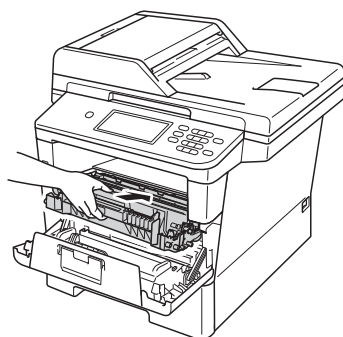
新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。

印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレー部分には触れないようにしてください。

3 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。

4 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

5 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す

元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す

2 フロントカバーを閉じる

液晶ディスプレイに【お待ちください】が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で本製品の電源スイッチをOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒23ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

ドラムユニットエラーのメッセージ

【ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒69ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーの清掃をしても、【ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ】表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。
⇒86ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ

ドラムユニット交換のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいドラムユニットに交換してください。

部品交換
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

ドラムユニット停止のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。

ﾄﾞﾗﾑ停止

新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

! 重 要

最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。
本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。

補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、記録紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約30,000枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。
⇒66ページ「定期メンテナンス」を参照してください。
- お近くでドラムユニットが手に入らないときは、⇒78ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

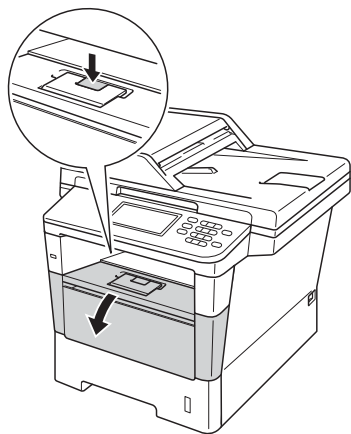
ドラムユニットを交換する

新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

! 重 要

使用済みのドラムユニットを交換する場合は、トナーの粉が残っていることがあるので、取り扱いには注意してください。

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

3 ドラムユニットを取り出す

1 ドラムユニットを取り出す

警 告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（前面）

! 重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

2 **緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す**

⚠ 警告

■ ドラムユニットやトナーカートリッジ

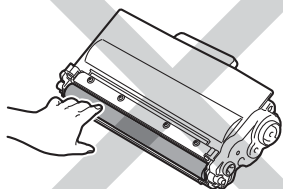
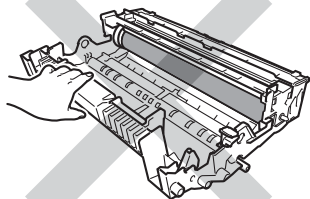
を火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

! 重 要

- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようしてください。

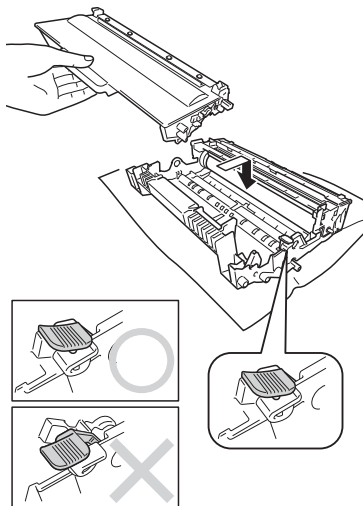
＜トナーカートリッジ＞

＜ドラムユニット＞

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

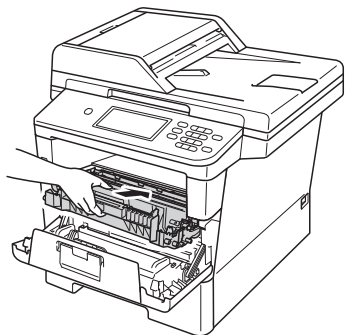
4 交換する

1 新しいドラムユニットを開封する

2 トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

! 重 要

開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

5 ドラムユニットを本製品に戻す

6 フロントカバーを閉じる

7 ドラムカウンターをリセットする

1 **本製品が待機状態であることを確認する**
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されているときは、<停止/終了>を押して待機状態にしてください。

2 **【メニュー】を押す**
3 **【▲】または【▼】で【製品情報】を押す**
4 **【消耗品リセット】を押す**
5 **【ドラム】を押す**
6 **【はい】を押す**
7 **<停止/終了>を押す**

トナーカートリッジのみを交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットしないでください。

定期交換部品の交換

液晶ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- 部品交換　PFｷｯﾄ MP
- 部品交換　PFｷｯﾄ 1
- 部品交換　PFｷｯﾄ 2
- 部品交換　ﾋｰﾀｰ
- 部品交換　ﾚｰｻﾞｰﾕﾆｯﾄ

補足

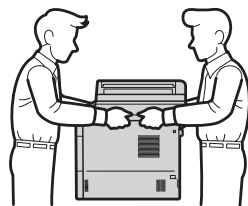
- PFキットMPとは、多目的トレイ（MPトレイ）用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- PFキット1/PFキット2とは、記録紙トレイ1および記録紙トレイ2用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- PFキットMPの概算寿命は50,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。残り寿命の確認は⇒ユーザーズガイド応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

警 告

■ 本製品の重量は記録紙を含めると20kg以上になる場合があります。安全のため、本製品を持ち運ぶ際は、必ず2人以上でお持ちください。また、本製品を置くときには、指をはさまないように注意してください。

■ オプションの増設記録紙トレイをご使用の場合は、本製品から取り外してください。
増設記録紙トレイを取り付けたまま本製品を移動させると、けがをしたり、増設記録紙トレイが損傷するおそれがあります。

注 意

再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチをOFFにし、本製品内部を十分に冷ましてください。

! 重 要

■ 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用してお買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。

■ 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

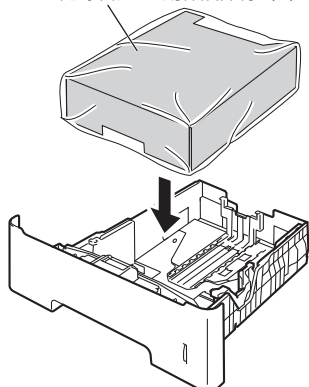
1 電源スイッチをOFFにし、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 コード、ケーブルを取り外す

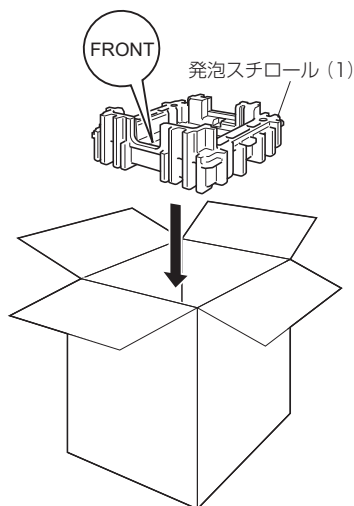
1 **電話機コードとすべてのケーブルを取り外す**

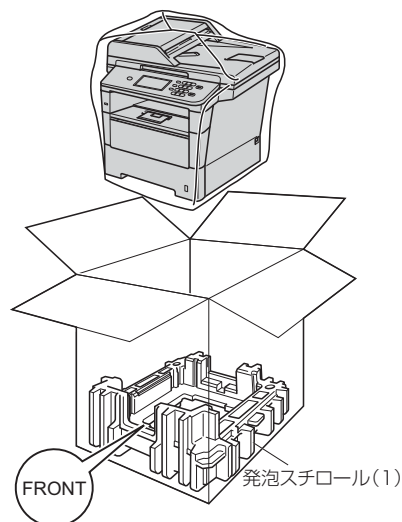
2 **電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す**
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

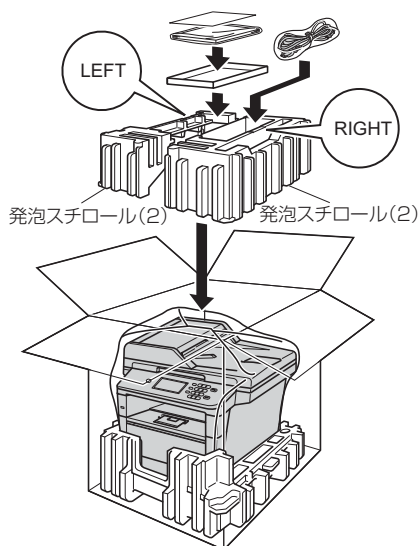
3 記録紙トレイに保護部材をセットする

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す
2 記録紙トレイから記録紙を取り出す
3 イラストのように、記録紙トレイ用保護部材（1）を記録紙トレイにセットする

4 記録紙トレイを本製品に戻す

4 発泡スチロール（1）を外箱に入れる

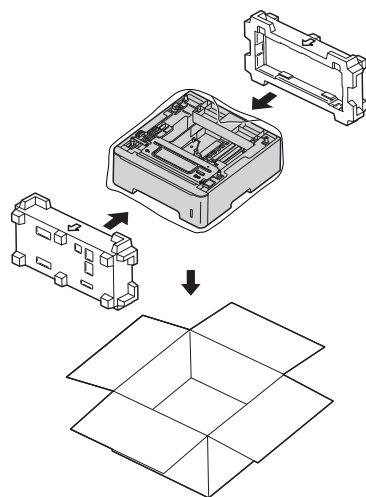
発泡スチロール（1）の「FRONT」の印を確認してください。

5 本製品や付属品を梱包する

1 本製品をビニール袋に入れる
2 本製品をセットする
発砲スチロール（1）の「FRONT」の印と本製品の前面を合わせてセットしてください。

3 イラストのように、本製品の上に発泡スチロール（2）をセットし、箱型トレイボックス、電源コードなどを入れる

発泡スチロール（2）の「RIGHT」と本製品の右面、発泡スチロール（2）の「LEFT」と本製品の左面を合わせてセットしてください。

4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

増設記録紙トレイ（LT-5400）を再梱包する

増設記録紙トレイ（LT-5400）をお持ちの方は、イラストのように増設記録紙トレイを再梱包してください。

4 困ったときには

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。（説明文が長い対処方法は、【◀】または【▶】で見ることができます。）液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
DIMM Error	**本製品の電源スイッチを OFF にし、メモリ（SO-DIMM）をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** 数秒後電源スイッチを ON にします。再度エラーメッセージが表示された場合は、本製品で使用できるメモリ（SO-DIMM）の仕様を確認し、メモリ（SO-DIMM）を新しいものに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
IP取得方法を自動にしてください	**TCP/IP 設定の IP 取得方法を【Auto】に設定してください** ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」を参照してください。
IPファクスをオフしてください	**IP ファクスの設定を【オフ】にしてください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
アクセスできません	**<停止/終了>を押して、USBメモリを接続し直してください**
印刷できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **本製品の電源スイッチを OFF にし、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態で 30 分放置し水蒸気などを取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源スイッチを ON にしてください**
印刷ページ数超過	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、印刷枚数の制限を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
書き込み禁止のUSBメモリ	**USB メモリの書き込み禁止機能をオフにしてください**

液晶ディスプレイ表示	解決方法
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを閉めてから＜スタート＞を押してください。 **フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください**
紙詰まり 多目的トレイ	**多目的トレイ（MP トレイ）でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 104 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 後ろ	**本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 106 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり トレイ1	**記録紙トレイ 1 でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 105 ページ「記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり トレイ2	**記録紙トレイ 2 でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 105 ページ「記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり 内部	**本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 109 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。 **トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください** ⇒ 81 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
紙詰まり 両面	**記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 113 ページ「両面印刷時に記録紙がつまったとき」を参照してください。
機能がロックされています	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、パスワードによる使用制限されている機能の確認をしてください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
記録エラー回復中	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください。メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
記録紙サイズが違います	**正しい記録紙をセットしてください** メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
記録紙を送れません 記録紙がありません	**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください** それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 75 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 **多目的トレイの記録紙を正しくセットしてください**
原稿詰まり ADF	**ADF（自動原稿送り装置）につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、< 停止 / 終了 > を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** < 停止 / 終了 > を押して、原稿をセットし直してください。
サイズ エラー 両面	**両面印刷可能な正しい記録紙サイズ（A4）をセットしてください** < スタート> を押します。両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。 両面印刷可能な記録紙をプリンタードライバーで設定してください。両面印刷できる記録紙サイズの詳細は、⇒ 173 ページ「用紙仕様」を参照してください。
使用できないデバイス	**接続したデバイスを取り外して、電源を入れ直してください** 本製品に対応していない、または壊れている USB 機器が接続されている可能性があります。
使用不能なUSB機器です	**接続したデバイス（USB メモリなど）を確認してください** 接続しているデバイス（USB メモリなど）が、フォーマットされていない、壊れている、または互換性がない可能性があります。また、正しく差し込まれているか確認してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
スキャンできません	**電源スイッチを OFF にして、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **<停止 / 終了> を押して、両面スキャン用の原稿サイズかどうかを確認してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「原稿のこと」、⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」を参照してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**
通信エラー	**相手先のポーリング設定を確認してください** **別のファクスから送信するか、接続をし直して送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口へご連絡ください。
手差し印刷	**記録紙を多目的トレイ（MP トレイ）にセットしてください**
登録されていません	**ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録してください** ⇒ 46 ページ「電話帳の基本」を参照してください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外してください** 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。
トナーがセットされていません	**トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** ⇒81 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
トナー交換	**トナーカートリッジを交換してください** ファクスを印刷中、液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示された場合は、ファクスデータはメモリに保存されます。 ⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ドラムエラー	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください** ⇒81 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
ドラム停止	**ドラムユニットを交換してください** ⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
トレイが開いています	**トレイ 1/ トレイ 2 を本製品に取り付けてください**
話し中/応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけ直してください**
ハブはサポートしていません	**USB メモリ差込口から USB ハブを外してください** USB メモリ差込口は、USB ハブに対応していません。
ヒーターエラー	**電源スイッチを OFF にします。2 ～ 3 秒後、もう一度、電源スイッチを ON にして、そのまま 15 分お待ちください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
ファイルがいっぱいです	**USB メモリ内のファイル数を減らしてください**
ファイル名を変えてください	**USB メモリ内に同じファイル名がある場合は、ファイル名を変更してください**
部品交換 PFキット 1	**PF キット 1 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PFキット 2	**PF キット 2 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PFキット MP	**PF キット MP の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 ドラムユニット	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら消耗品を交換してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒ 86 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
部品交換 ヒーター	**ヒーターの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 レーザーユニット	**レーザーユニットの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
まもなくトナー交換	**新しいトナーカートリッジを購入し、液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示される前に準備しておいてください** 液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されるまで、トナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。
メモリがいっぱいです	**<停止 / 終了> を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** <停止 / 終了> を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、< スタート > を押して読み込まれた分だけを送信、またはコピーしてください。 **印刷中のとき** 印刷する文書の複雑さを減らすか、解像度を下げてからもう一度試してください。または保存されているデータを消去して、メモリの空き容量を確保してください。市販の SO-DIMM メモリで本製品のメモリを増やしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
用紙サイズが合いません	**正しい記録紙をセットしてください** 記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
利用できません	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、使用制限されている機能を確認をしてください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
両面印刷できません	**バックカバー（背面排紙トレイ）を完全に閉じ、両面トレイを正しく取り付けてください** **両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）を選択してください** < 停止 / 終了 > を押し、プリンタードライバーで設定を確認してください。 設定した用紙サイズの用紙をトレイに入れ < スタート > を押してください。
ログへのアクセスに失敗しました	**印刷ログ機能の設定内容を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。解除方法を説明するイラストと説明文を【◀】または【▶】で見ることができます。

原稿がつまったとき ⇒102ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	原稿詰まり ADF
記録紙がつまったとき ⇒104ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。	紙詰まり XXXX XXXXXXX

【XXXXXXX】は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

！ 重要

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒26ページ「使用できない記録紙」を参照してください。

原稿がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

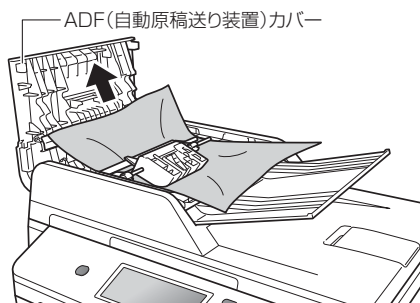
原稿詰まり ADF

ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

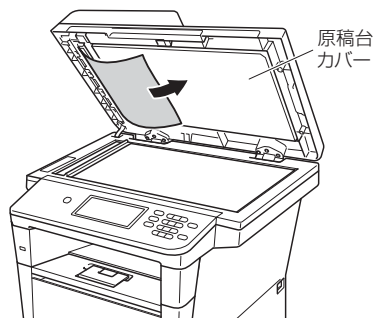
4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

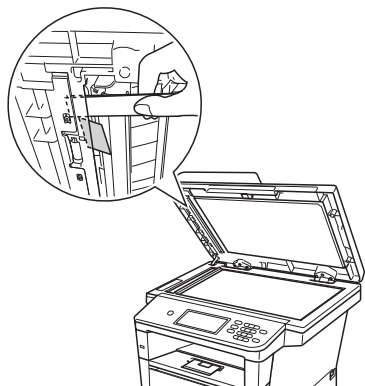
補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

1 原稿台カバーを開く

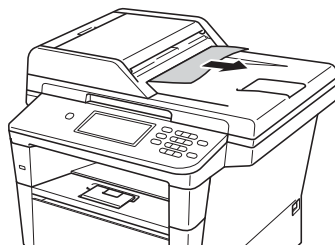
2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く

3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

3 <停止/終了>を押す

記録紙がつまったとき

多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙がつまっています。

紙詰まり 多目的トレイ

1 **多目的トレイ（MPトレイ）からつまっていない記録紙を取り除く**

2 **多目的トレイ（MPトレイ）からつまった記録紙を取り除く**

両手でゆっくり引き出してください。

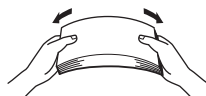
補足

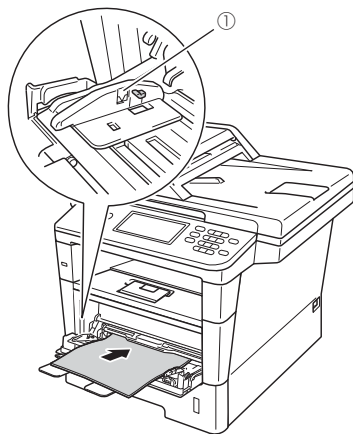
つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 **多目的トレイ（MPトレイ）内部や周辺につまっている記録紙を取り除く**

補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。

4 **紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく**

5 **多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙をセットする**

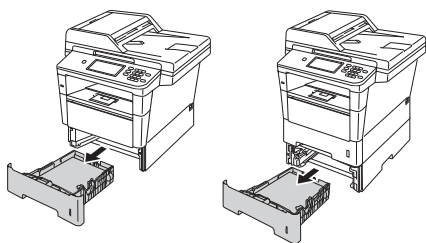
記録紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。

6 **<スタート>を押す**

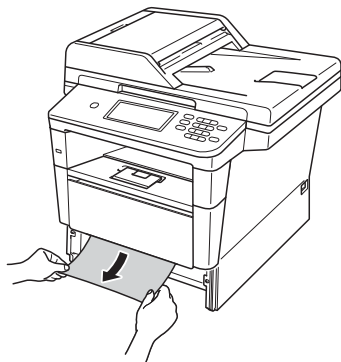
記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、記録紙トレイ（トレイ1）／増設記録紙トレイ（トレイ2）に記録紙がつまっています。

紙詰まり トレイ1

紙詰まり トレイ2

1 本製品から該当の記録紙トレイを完全に引き出す

2 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 記録紙が該当する記録紙トレイの適切な位置にセットされているか確認する

- 記録紙ガイドの両端にある▼ ▼ ▼マークより下に収まっていることを確認してください。
- 緑色の記録紙ガイドをつまみながら記録紙ガイドをスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

4 該当の記録紙トレイを本製品に戻す

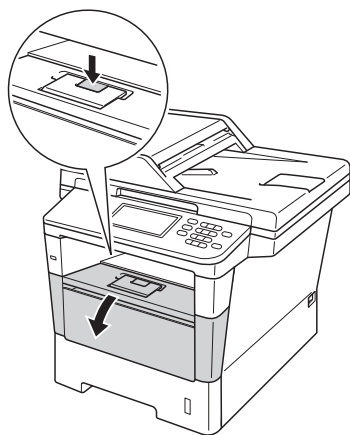
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

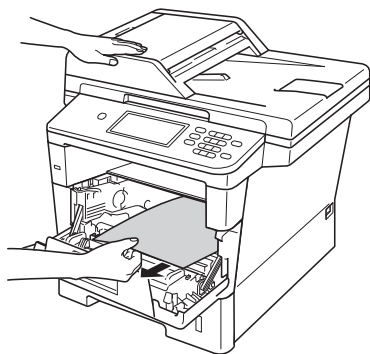
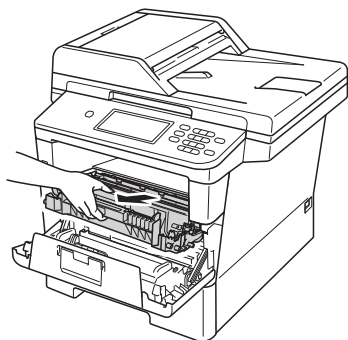
背面に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、バックカバー内に記録紙がつまっています。

紙詰まり 後ろ

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

3 ドラムユニットを取り出す

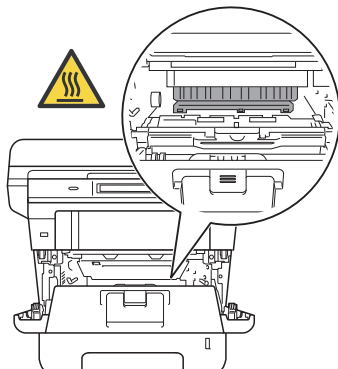
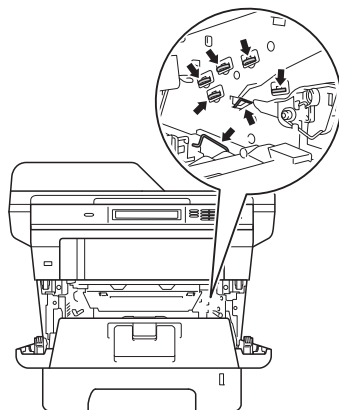
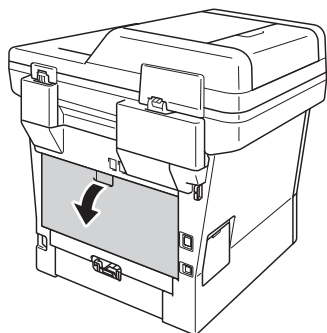
ドラムユニットを取り出すことで、つまった記録紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった記録紙を取り除くことができます。

補足

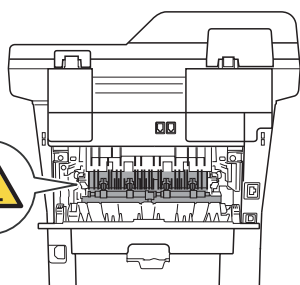
ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。

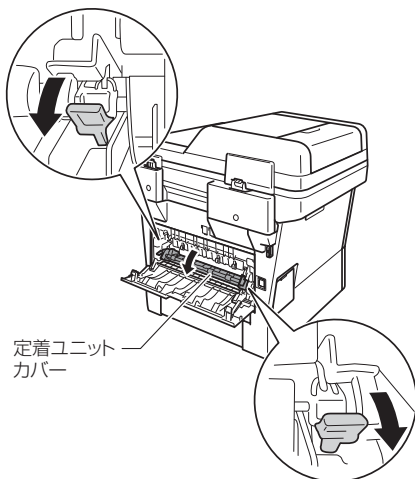
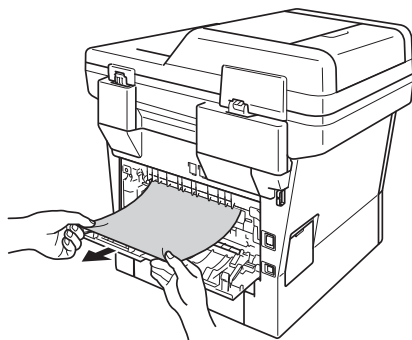
警告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（前面）

重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

4 バックカバーを開く

警 告

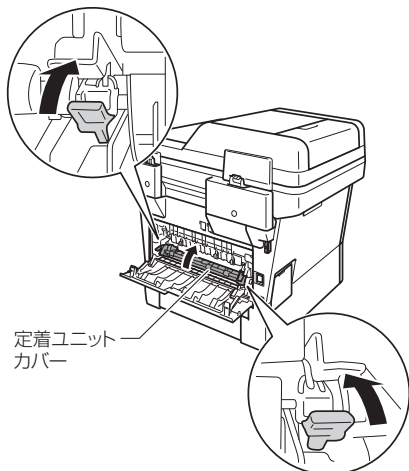
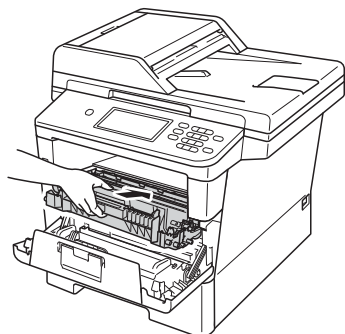
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（背面）

5 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く

6 定着ユニットからつまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

7 元の状態に戻す

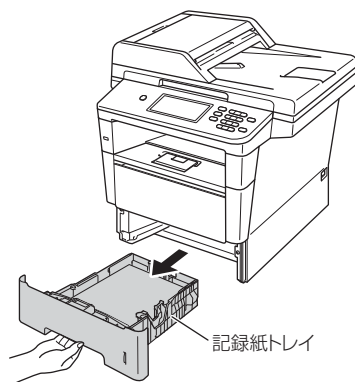
1 定着ユニットカバーを閉じる

2 バックカバーを閉じる
3 ドラムユニットを本製品に戻す

4 フロントカバーを閉じる

本製品の内部に記録紙がつまったとき

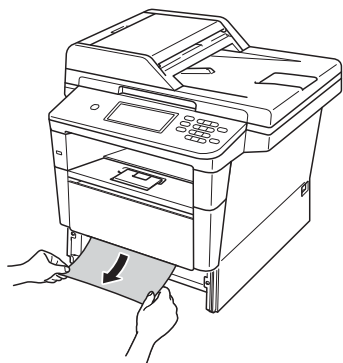
液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。

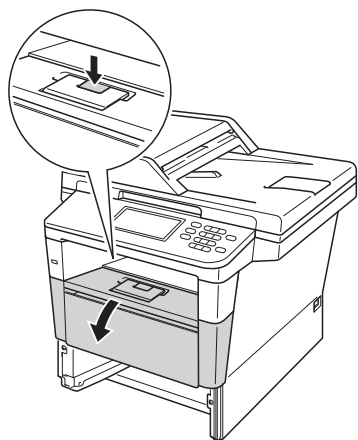
紙詰まり 内部

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

3 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

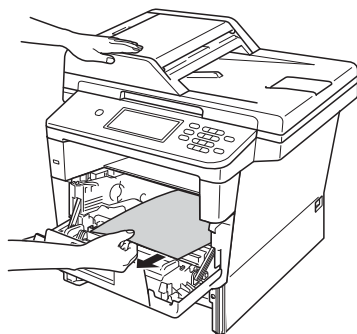
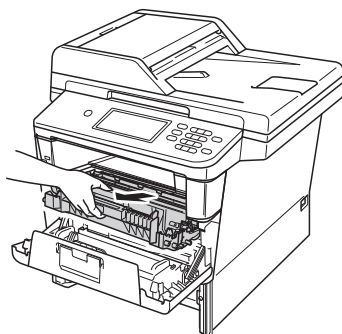
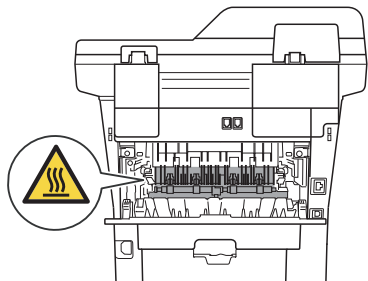
補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。

4 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く

5 ドラムユニットを取り出す

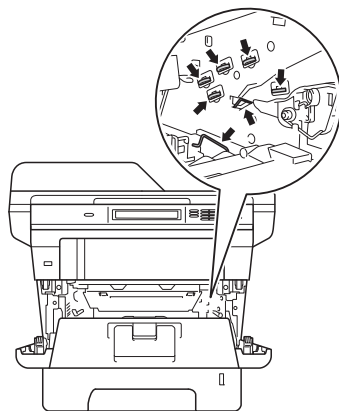
ドラムユニットを取り出すことで、つまった記録紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった記録紙を取り除くことができます。

補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。

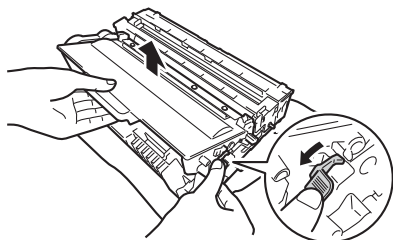
⚠警告

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（背面）

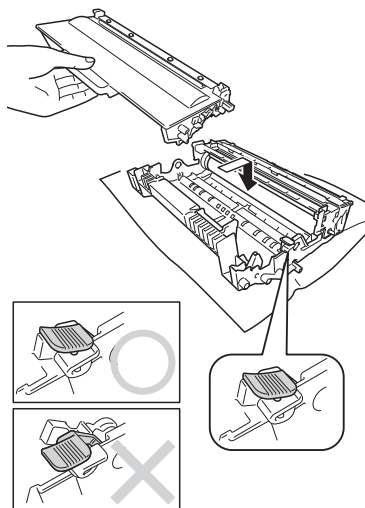
！重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

補足

本製品では、ドラムユニットにトナーカートリッジを装着して使用する仕組みになっています。必ず、本製品内のドラムユニットにトナーカートリッジが装着されているか確認してください。
トナーカートリッジのみを本製品に取り付けた場合、液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】または【ドラムエラー】が表示されることがあります。

6 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

ドラムユニット内部につまった記録紙があるときは、取り除いてください。

7 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。

補足

トナーカートリッジが正しく装着されていることを確認してください。装着が正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

8 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す
2 フロントカバーを閉じる
3 記録紙トレイを本製品に戻す
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

補足

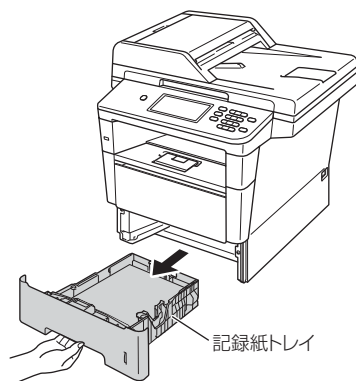
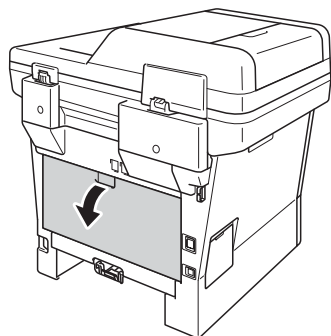
- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- 本製品の内部に記録紙がつまっているときに本製品の電源スイッチをOFFにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷します。
本製品の電源スイッチをONにする前に、コンピューターの印刷実行ジョブを削除してください。

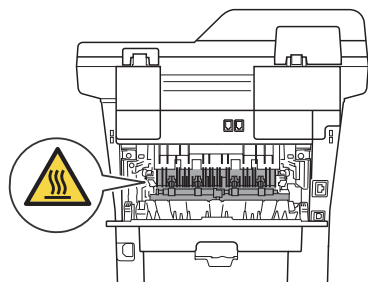
両面印刷時に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、両面トレイに原稿がつまっています。

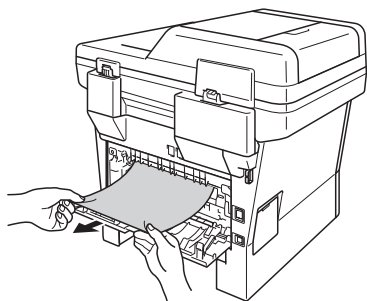
紙詰まり 両面

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

3 バックカバーを開く

警 告

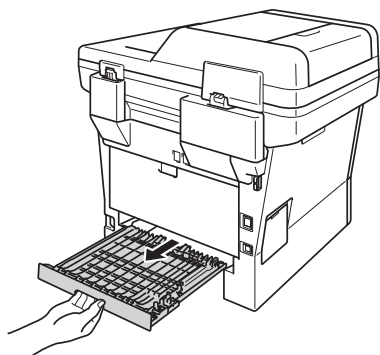
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

本製品内部（背面）

4 つまった記録紙を取り除く

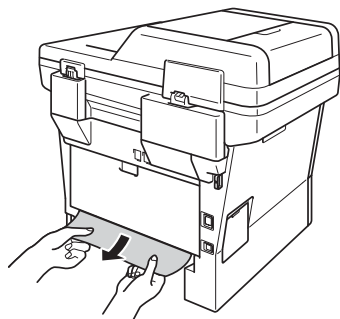
両手でゆっくり引き出してください。

補足

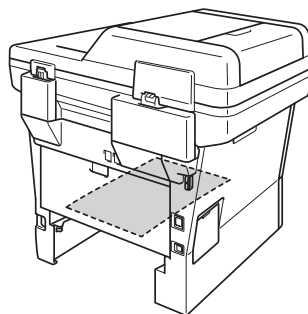
- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

5 本製品のバックカバーをしっかりと閉じる

6 本製品から両面トレイを完全に引き出す

7 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないください。

8 本製品の底面につまった記録紙がないかを確認する

9 両面トレイを本製品に戻す

10 記録紙トレイを本製品に戻す

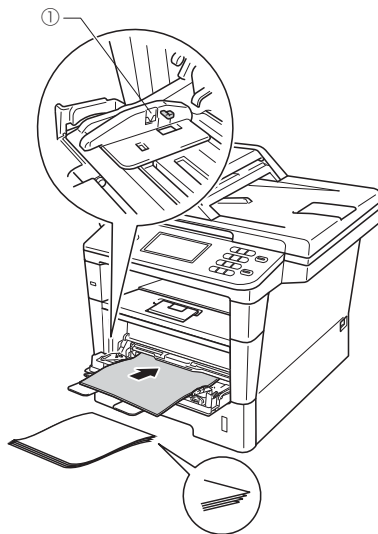
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

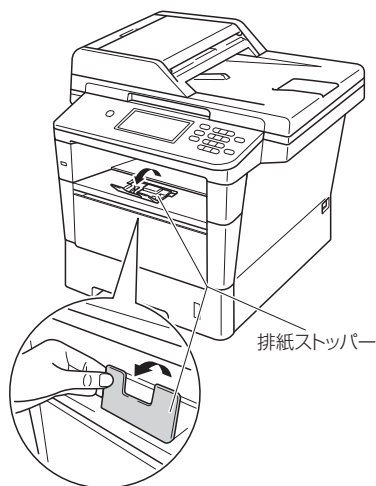
コピー／印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
電源コードは差さっていますか	電源コード（壁側、本体側）を確実に差し込んでください。
本製品の電源スイッチはONになっていますか	本製品の電源スイッチを ON にしてください。 < 電源が入らない場合 > • （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 • 本製品の電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源スイッチを ON にしてください。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 75 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
液晶ディスプレイに【記録紙を送れません】が表示されていませんか	記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。
記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか	記録紙を少し減らしてセットしてください。
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり、厚すぎたりしている場合や原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 102 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 **（多目的トレイ（MP トレイ）使用時）** • 記録紙をよくさばいてからセットし直してください。 • プリンタードライバーの給紙方法が多目的トレイ（MP トレイ）を選択しているか確認してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。
記録紙トレイに記録紙を正しくセットしていますか	⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙を正しくセットしていますか	記録紙をよくさばき、イラストのように記録紙の先端をずらし、記録紙の先端が軽く当たるまで差し込んでください。記録紙が用紙ガイドの両端にあるマーク①より下に収まっているか確認してください。 または、⇒ 29 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙をセットする」を参照してください。
記録紙がつまってないか確認してください	⇒ 101 ページ「紙がつまった！」を参照してください。 フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが［両面印刷］に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定しているか確認してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。
両面トレイが正しく取り付けられていますか	両面トレイが正しく取り付けられているか確認してください。

排紙トレイから記録紙が落ちる

ここを確かめてください	対処方法
排紙ストッパーを開いていますか	上面排紙トレイの排紙ストッパーを開いてください。 排紙ストッパー

コピーできない

ここを確かめてください	対処方法
コピーモードになっていますか	【コピー】を押してコピーモードにしてください。
セキュリティ機能ロック2.0が設定されていませんか	本製品の管理者にセキュリティ機能ロック 2.0 が設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
① ケーブルが正しく接続されていますか	• 本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。) • 複数の機器がコンピューターに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。
② 本製品が通常ご使用になるプリンターに設定されていますか	本製品のアイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定］にカーソルを合わせ、通常使うプリンタードライバーにチェックを入れます。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを入れます。
③ 液晶ディスプレイがエラーメッセージを表示していませんか	⇒ 95 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフラインの状態になっていませんか	本製品がオフラインになっていないか確認します。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］をクリックします。（BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。） ［プリンター］をクリックし、［プリンターをオフラインで使用する］にチェックがある場合は、オフラインの状態です。［プリンターをオフラインで使用する］をクリックし、チェックを外してください。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。
⑤一時停止の状態になっていませんか	本製品が一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］をクリックします。（BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。） ［Brother MFC-XXXX Printer- 一時停止］が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、［再開］をクリックしてください。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑥印刷待ちのデータがありませんか	• 印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows® 7> メニューから[デバイスとプリンター]をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示]をクリックします。(BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。) 印刷データを選択し、[ドキュメント]メニューから[キャンセル]を選択します。 <Windows Vista®> メニューから[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント]メニューから[キャンセル]を選択します。 <Windows® XP> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX]の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント]メニューから[キャンセル]を選択します。 • 本製品内に残っているデータを消去する場合は、<停止 / 終了>を押してください。
⑦印刷先(ポート)の設定が間違っていませんか	<Windows® 7> メニューから[デバイスとプリンター]をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。(BR-Script3 プリンタードライバーをインストールしている場合は、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。) [ポート]タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®> メニューから[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ]の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。[ポート]タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP> [スタート] - [コントロール パネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX]の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。[ポート]タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロックが設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。
⑨アドビ・イラストレーターを使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。

ここを確かめてください	対処方法
⑩ お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。
⑪ プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからコンピューターを再起動し、⇒「かんたん設置ガイド」に従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー/印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている記録紙を使用しているか確認してください。⇒24ページ「記録紙の基本」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

最適な印刷品質で印刷するために、推奨紙の使用をおすすめします。⇒ユーザーズガイド 応用編「推奨紙」を参照してください。

2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れるまたは、上下左右の文章が切れる	原稿の上下左右に、印刷不可能領域があるので、余白を調整して印刷し直してください。
A4サイズより小さい原稿を原稿台ガラスからコピーする場合に印刷結果が切れる	コピーするときに使用する記録紙トレイの設定を【記録紙トレイ #1 のみ】、【記録紙トレイ #2 のみ】（オプションの増設記録紙トレイ装着時）、または【多目的トレイのみ】のいずれかに設定し、選択した記録紙の記録紙サイズを原稿と同じサイズに設定してください。コピー終了後、元の設定に戻してください。 記録紙トレイの設定は、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」、記録紙サイズの設定は、⇒32 ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」を参照してください。
色付きの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い	画質の設定を【テキスト】に設定し、コントラストのレベルを変更してください。 ⇒ 59 ページ「画質を設定する」、⇒ 60 ページ「コントラストを設定する」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
何も印刷されない（真っ白）	• 原稿を表と裏を間違えてセットしている可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の場合は、コピーする面を上にして、原稿台ガラスの場合は、コピーする面を下にして原稿をセットしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく取り付け直し、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。
印刷結果が薄すぎるか濃すぎる	• コントラストまたは明るさを印刷条件に合わせて調整してください。お買い上げ時は中央に設定されています。 ⇒ 60 ページ「コントラストを設定する」、⇒ 59 ページ「明るさを設定する」を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく取り付け直し、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 77 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

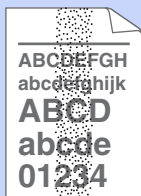
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法

印刷結果がかすれる

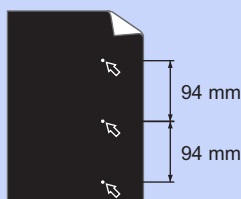
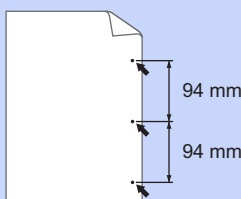
- ドラムユニットを取り出してください。両手でドラムユニット（トナーカートリッジを装着したまま）を持ち、トナーが均等になるように、左右に5 ～ 6 回ゆっくりと振ってください。
- 液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されていたら、トナーカートリッジを新しいものに交換してください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- 原稿台ガラスを清掃してください。
- すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードが【オフ】になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

背景が灰色になる

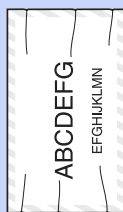
- 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。
- 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか、確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • プリンタードライバーの設定で［高湿度下での残像を改善する］チェックボックスをチェックしてください。［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
トナー汚れが生じる 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • ドラムユニットとドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 71 ページ「ドラムユニットの清掃」、⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印字部がところどころ白く欠ける 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーの［用紙種類］で［超厚紙］を選択するか、現在ご使用のものより薄い記録紙をご使用ください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い点々が不規則に現れる 	• トナーカートリッジから本製品内部にトナーが漏れていないか確認してください。漏れている場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。 • コピーを数枚してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 76 ページ「消耗品の交換」を参照してください。
真っ黒なページが印刷される 	• 原稿台カバーが完全に閉じているか確認してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 〜 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、 白い線が横方向に現れる 	• ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットを本製品から取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してドラムユニット内部に紙片など異物がないか確認してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒76ページ「消耗品の交換」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、平行な線が現れる 	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、 帯状の白い線が横方向に現れる 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる 白い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる 	• 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。 ⇒ 71 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、線が縦方向に現れる 	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 感光ドラムの表面にトナーや粘着性の汚れが付いている場合は、乾いた布で拭きとってください。⇒ 71 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 76 ページ「消耗品の交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い汚れが平行に繰り返し入る 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 71 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラム表面を傷つけるおそれがありますので、クリップやホチキスが付いた記録紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、 白い線が縦方向に現れる 	• 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていない、または異物（付箋、ほこりなど）が付着していないことを確認してください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • トナー残量が少なくなっている、またはトナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 80 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 71 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 本製品内部で結露している可能性があります。複数ページを印刷してください。改善されない場合は、2 時間程度放置してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 76 ページ「消耗品の交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
斜めに印刷される	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • 記録紙やその他のメディアが記録紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、記録紙ガイドが記録紙の大きさに合っているか確認してください。 • 記録紙ガイドを正確にセットしてください。記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 多目的トレイ（MP トレイ）をご使用の場合は⇒ 29 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙をセットする」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題が両面印刷時に起こるときは、両面トレイの中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。また、両面トレイが完全に本製品に戻してあること、バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じられていることを確認してください。 • 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 原稿ガイドが原稿の幅に正しく合わせられているか確認してください。⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。
カールしたり波打って印刷される 	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • 本製品を長時間使用していないと、記録紙が記録紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを 180 度回転させてみてください。 • 高温多湿の場所で放置していない用紙をセットしてください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳しくは、⇒ 30 ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）が正しく閉められているか確認してください。 • 記録紙が正しく給紙されているか確認してください。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • トレイの中の記録紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される	• バックカバー（背面排紙トレイ）を開けて、封筒がバックカバー（背面トレイ）に排出されているか確認してください。 • 封筒が多目的トレイ（MP トレイ）から正しく給紙されているか確認してください。 • 封筒の種類と品質を確認してください。⇒173ページ「用紙仕様」を参照してください。
印刷された箇所を指でこすると汚れる	• プリンタードライバーの設定で［トナーの定着を改善する］チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 数ページしか印刷しない場合は、［用紙種類］で、より厚い用紙に変更してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。
丸まって印刷される	• プリンタードライバーの設定で［用紙のカールを軽減する］チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳しくは、⇒ 30 ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
細線の画像が欠けている	• トナー節約モードが【オフ】になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • プリンタードライバーで印刷の解像度を変更してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • Windows® プリンタードライバーを使用している場合は、[パターン印刷を改善する]、または [細線の印刷を改善する] のチェックボックスにチェックを入れてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Presto! PageManagerで［ファイル］-［ソースの選択］-［ソースを選択］ダイアログボックスで［TW-Brother MFC-8950DW］を選択し、［OK］をクリックしてください。 Macintosh の場合、［ファイル］-［取り込みデバイスを選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。（Mac OS X 10.5.8 の場合）
OCRが使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク編」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 22 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	• 電話線を正しく接続してください。⇒かんたん設置ガイド「電話機コードを接続する」を参照してください。 • 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の < オンフック > を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒ 39 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。
送信確認レポートで、「結果エラー」と印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。
IPフォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
IP網を使用した専用線を使用していますか	【安心通信モード】を【標準】に変更してください。 または、一般電話回線を選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL環境ですか	• ブランチ接続（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは	対処方法
自動受信できない	• 呼び出し回数が多すぎないか確認してください。受信モードのときは呼び出し回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼び出し回数を 2 回以下に設定してください。⇒ 45 ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。 または、手動で受信してください。 • 自動で記録紙に印刷したいときは、【転送 / メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	•【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「#51」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

こんなときは	対処方法
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。
IP網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。
ファクスを複数枚送信できない	• ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合 リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。 • 原稿台ガラスを使用する場合 リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリーの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは	対処方法
受信したファクスが分割されて2ページに印刷される	【自動縮小】を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を 0 回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容は NTT の 166 番にお問い合わせください。 • ブランチ接続（並列接続）はしないでください。 ⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなときは	対処方法
受信したファクスに縦の線が現れる	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 69 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 85 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
受信したファクスに、水平の線が現れる または、行が抜ける	• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心（VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（色白の部分)、ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 67 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる	原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分)、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 61 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
送信したファクスに横の線が現れる	• キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 44 ページ「電話モード」を参照してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心（VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話（EXT.）端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源スイッチが ON になっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。 契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDNを使用していますか	• ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 •「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。 • まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください	対処方法
【親切受信】が【オン】に設定されていませんか	本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください	対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、正しく接続し直してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
電話番号が表示されない	• ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、ブランチ接続（並列接続）をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDNを使用していますか	本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

IPファクスで送受信できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①NTTのフレッツ光ネクストに契約していますか	NTT のフレッツ光ネクストに契約し、専用のホームゲートウェイを設置してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
②ホームゲートウェイの光ファイバーケーブル、LANケーブルが正しく接続されていますか	配線の接続を確認してください。 ⇒ 22 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」を参照してください。
③ホームゲートウェイの電源スイッチがOnになっていますか	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
④ホームゲートウェイが正しく設定されていますか	ホームゲートウェイの設定を変更した場合は、本製品の電源を入れ直してください。 正しく設定されていても、うまくいかないときはNTT にお問い合わせください。
⑤次世代ネットワーク（NGN）のサービスが、正常に提供されていますか	最寄りの NTT 窓口にお問い合わせください。
⑥（送信時のみ）データコネクト設定のIPファクスが、【オフ】になっていませんか	【専用】または【優先】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
⑦TCP/IP設定のIP取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されていますか	【Auto】または【DHCP】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」を参照してください。
⑧ホームゲートウェイの設定を変更していませんか	本製品の電源を入れ直してください。
⑨相手側の設定は正しいですか	①～⑧を相手側に確認してもらってください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USBケーブル、LANケーブルが長すぎないか、破損または故障していませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器を取り外して、直接本製品と接続してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの［基本設定］タブで［印刷設定］の［パターン印刷を改善する］にチェックが入っていますか	以下の手順で設定を確認してください。 1 ［基本設定］タブで［印刷設定］のプルダウンメニューから［手動設定］を選択する。 2 ［手動設定］をクリックし、［パターン印刷を改善する］のチェックボックスにチェックが入っていることを確認する。

コンピューターの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

ここを確かめてください	対処方法
ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていませんか	ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。

印刷速度がとても遅い

ここを確かめてください	対処方法
印刷品質が高品質になっていませんか	プリンタードライバーの設定を変更してください。
静音モードにしていませんか	静音モードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「静音モードについて」を参照してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。
両面トレイが正しく取り付けられていますか	両面トレイが正しく取り付けられているか確認してください。

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか	液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

Macintoshに接続したプリンターが表示されない

ここを確かめてください	対処方法
ケーブルが正しく接続されていますか	ケーブルを正しく接続してください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
プリンタードライバーはインストールされていますか	• プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。 • ［システム環境設定］-［プリントとファクス］※をクリックし、本製品が選択されているか確認してください。 ※：Mac OS X 10.5.8、10.6.x の場合。 Mac OS X 10.7.x の場合は、［プリントとスキャン］をクリックします。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください	対処方法
UPS（無停電電源装置）を使用していませんか	本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

その他

ここを確かめてください	対処方法
USBxxx:への書き込みエラーが表示される	液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されていませんか。 • トナーカートリッジを交換してください。⇒80ページ「まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ」を参照してください。
印刷すると照明がちらついたり、コンピューターのディスプレイ表示が不安定になっていませんか	コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。 本製品の電源を別系統のコンセントに接続してください。

5 付録

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

【メニュー】ボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照ページ
基本設定	記録紙トレイ設定	多目的トレイ	–	**記録紙サイズ** A4 USレター リーガル A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 フォリオ ハガキ フリー **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	多目的トレイ（MPトレイ）にセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	⇒32 ページ
		記録紙トレイ#1	–	**記録紙サイズ** A4 USレター リーガル A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 フォリオ ハガキ **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙	記録紙トレイ＃１にセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
基本設定	記録紙トレイ設定	記録紙トレイ#2※	–	**記録紙サイズ** A4 USレター リーガル A5 B5 フォリオ **記録紙タイプ** 普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙	記録紙トレイ＃2にセットする記録紙のタイプとサイズを設定します。	⇒32 ページ
		トレイ選択：コピー	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒32 ページ
		トレイ選択：ファクス	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒32 ページ
		トレイ選択：プリンター	–	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒32 ページ
	音量	着信音量	–	小 中 大 切	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ボタン確認音量	–	小 中 大 切	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		スピーカー音量	–	小 中 大 切	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
基本設定	省エネモード	トナー節約 モード	ー	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		スリープ モード	ー	3分 (0-5分)	スリープ状態になるまでの時間を設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	静音モード	ー	ー	オン オフ	プリンターの印刷時の動作音を静かにします。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	画面の設定	画面の明るさ	ー	明るく 標準 暗く	画面の明るさを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		照明ダウン タイマー	ー	10秒 20秒 30秒 切	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	ー
	セキュリティ	セキュリティ 機能ロック	パスワード 設定	ー	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザーごとにロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			ロック オフ ⇒オン			
			ユーザー設定			
		セキュリティ 設定ロック	パスワード 設定	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			ロック オフ ⇒オン			

ファクス

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照ページ
ファクス	受信設定	ファクス 無鳴動受信	–	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		呼出回数	–	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出し回数を0～10回の間で設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		再呼出回数	–	8 15 20	受信モードが【F/T= 自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出し音の回数を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		親切受信	–	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話を取ってしまった場合でも、本製品の<スタート>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		リモート受信	–	オン（起動番号：#51） オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		自動縮小	–	オン オフ	A4 サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		転送/ メモリ受信	–	ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 PCファクス受信 オフ	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷濃度	–	-2 -1 0 +1 +2	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		受信スタンプ	–	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		両面印刷	–	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒45 ページ

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照ページ
ファクス	送信設定	とりまとめ 送信	–	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送付書設定	印刷サンプル	–	送付書をサンプルとして印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			送付書 コメント	–	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		送信先表示	–	表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を液晶ディスプレイに表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		自動 再ダイヤル	–	オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	レポート設定	送信結果 レポート	–	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		通信管理間隔	–	50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと レポート出力しない	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ファクス出力	–	–	–	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	暗証番号	–	–	暗証番号：---*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ダイヤル制限 機能	直接入力	–	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ワンタッチ ダイヤル	–	2度入力 オン オフ		
		短縮ダイヤル	–	2度入力 オン オフ		
		LDAP サーバー	–	2度入力 オン オフ		
	通信待ち一覧	–	–	–	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
ファクス	データコネクト設定	IPファクス	―	専用 優先 オフ	IPファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		通信速度	―	自動 標準 高速 最高速	IPファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	その他	安心通信モード	―	高速 標準 安心 (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ナンバーディスプレイ	―	オン オフ 外付け電話優先	NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

プリンター

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
プリンター	エミュレーション	―	―	自動 HP LaserJet BR-Script 3 Epson FX-850	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	プリンターオプション	フォントリスト	HP LaserJet	―	内蔵フォントの種類を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
			BR-Script 3	―		
		プリンター設定	―	―	プリンターの設定値内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		テストプリント	―	―	テストチャートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	両面印刷	―	―	長辺綴じ 短辺綴じ オフ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	エラー解除	―	―	オン オフ	【オン】に設定すると、記録紙サイズのエラーを自動解除して、エラーにより給紙不可になったトレイから、給紙可能なトレイに自動的に切り替わり、給紙を継続します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	プリンターリセット	―	―	はい いいえ	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

レポート印刷

メイン メニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	内容	参照ページ
レポート印刷	送信結果レポート	表示	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		印刷	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳リスト	メモリ番号順	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		名前順	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	通信管理レポート	−	送信･受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	設定内容リスト	−	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	着信履歴リスト	−	着信した履歴を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ネットワーク設定リスト	−	ネットワークの設定値内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ドラム汚れ印刷	−	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	無線LANレポート	−	無線LANの現在の接続状況を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

ネットワーク

メイン メニュー	サブ メニュー1	サブ メニュー2	サブ メニュー3	サブ メニュー4	選択項目	内容
ネットワーク	有線LAN	TCP/IP設定	IP取得方法	―	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IP アドレス	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	IPアドレスを設定します。
			サブネット マスク	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	サブネットマスクを設定します。
			ゲートウェイ	―	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			ノード名	―	BRNxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			WINS設定	―	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
			WINS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	WINSサーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			DNS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	DNS サーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			APIPA	―	オン オフ	APIPAを設定します。
			IPv6	―	オン オフ	IPv6を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	サブ メニュー４	選択項目	内容
ネットワーク	有線LAN	イーサネット	−	−	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto： 自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10BFD/10B-HD： それぞれのリンクモードに固定されます。
		有線LAN状態	−	−	アクティブ1000B-FD アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続 有線LANオフ	有線LANの接続状態を表示します。
		MACアドレス	−	−	−	MAC アドレスを表示します。
		初期設定に戻す	−	−	はい いいえ	有線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
		有線LAN有効	−	−	オン オフ	有線LAN設定のオン/オフを切り替えます。
	無線LAN	TCP/IP設定	IP取得方法	−	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPアドレスの取得方法を指定します。
			IPアドレス	−	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	IPアドレスを設定します。
			サブネットマスク	−	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	サブネットマスクを設定します。
			ゲートウェイ	−	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	ゲートウェイのアドレスを設定します。
			ノード名	−	BRWxxxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
			WINS設定	−	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	サブ メニュー 4	選択項目	内容
ネットワーク	無線LAN	TCP/IP設定	WINS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	WINSサーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			DNS サーバー	プライマリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	DNS サーバーを設定します。
				セカンダリ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]	
			APIPA	–	オン オフ	APIPAを設定します。
			IPv6	–	オン オフ	IPv6を設定します。
		無線接続 ウィザード	–	–	–	ウィザード形式で無線LANの設定をします。
		WPS/AOSS	–	–	–	ボタンを押すだけで簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		WPS (PINコード)	–	–	–	WPS（PINコード）で簡単にワイヤレスネットワーク接続ができます。
		無線状態	接続状態	–	アクティブ(11n) アクティブ(11b) アクティブ(11g) 有線LAN アクティブ 未接続 AOSS アクティブ 接続に失敗しました	接続状態を表示します。
			電波状態	–	電波:強い 電波:普通 電波:弱い 電波:なし	電波状態を表示します。
			SSID	–	–	SSID（ネットワーク名）を表示します。
			通信モード	–	アドホック インフラストラクチャ なし	通信モードを表示します。
		MACアドレス	–	–	–	MAC アドレスを表示します。

<table>
<tr><th>メイン
メニュー</th><th>サブ
メニュー１</th><th>サブ
メニュー２</th><th>サブ
メニュー３</th><th>サブ
メニュー４</th><th>選択項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="13">ネットワーク</td><td rowspan="2">無線LAN</td><td>初期設定に
戻す</td><td>－</td><td>－</td><td>はい
いいえ</td><td>無線LANのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。</td></tr>
<tr><td>無線LAN有効</td><td>－</td><td>－</td><td>オン
オフ</td><td>無線LAN設定のオン/オフを切り替えます。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">Wi-Fi Direct</td><td>プッシュ
ボタン接続</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>ボタンを押すだけで簡単にWi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。</td></tr>
<tr><td>PINコード
接続</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>WPS（PIN方式）で簡単にWi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。</td></tr>
<tr><td>手動接続</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>手動でWi-Fi Direct™ ネットワーク接続ができます。</td></tr>
<tr><td>グループ
オーナー</td><td>－</td><td>－</td><td>オン
オフ</td><td>本製品をグループオーナーに設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">デバイス情報</td><td>デバイス名</td><td>－</td><td>－</td><td>デバイス名を表示します。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>－</td><td>（自分のSSID）
（接続相手のSSID）
未接続</td><td>グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>－</td><td>－</td><td>本製品のIPアドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">接続情報</td><td>接続状態</td><td>－</td><td>グループオーナー（＊＊）
クライアント アクティブ
未接続
Wi-Fi Direct オフ
有線LANアクティブ</td><td>接続状態を表示します。
（＊＊）は接続数</td></tr>
<tr><td>電波状態</td><td>－</td><td>電波:強い
電波:普通
電波:弱い
電波:なし</td><td>電波状態を表示します。</td></tr>
<tr><td>インターフェース有効</td><td>－</td><td>－</td><td>オン
オフ</td><td>Wi-Fi Direct™ 接続の有効/無効を設定します。</td></tr>
</table>

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	サブ メニュー４	選択項目	内容
ネットワーク	Eメール/ IFAX	メール アドレス	－	－	－	メールアドレスを設定します。 （最大60文字）
		サーバー設定	SMTP	SMTP サーバー	IP アドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] サーバー名	SMTPサーバーを設定します。 （最大64文字）
				SMTPポート	[1-65535]	SMTP認証を行うポート番号を設定します。
				SMTP認証	認証しない SMTP認証 POP before SMTP	SMTPの認証方式を設定します。
				SMTP over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
				SMTP証明書の検証	オン オフ	SMTPサーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			POP3	POP3 サーバー	IP アドレス [000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] サーバー名	POP3サーバーを設定します。 （最大64文字）
				POP3ポート	[1-65535]	POP3で使用するポート番号を設定します。
				アカウント名	－	アカウント名を設定します。 （最大60文字）
				パスワード	パスワード:******	POP3サーバーにログインするパスワードを設定します。
				POP3 over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3の暗号化方式を設定します。
				POP3証明書の検証	オン オフ	POP3サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
				APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	サブ メニュー 4	選択項目	内容
ネットワーク	Eメール/IFAX	メール 受信設定	自動受信	ー	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
				ポーリング間隔	10 [01-60]分	自動受信で「オン」を選んだ場合に、POP3サーバーへアクセスする間隔を設定します。
			ヘッダー印刷	ー	全て ヘッダーのみ なし	メールヘッダー印刷を設定します。
			エラーメール削除	ー	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
			受信確認	ー	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
		メール 送信設定	メール タイトル	ー	ー	メールタイトルを設定します。
			サイズ制限	ー	オン オフ	メールサイズ制限を設定します。「オン」に設定すると 1MB より大きいときは警告が表示されメールを送信することができません。
			受信確認要求	ー	オン オフ	通知メッセージを設定します。
		リレー 設定	リレー 許可	ー	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
			許可 ドメイン	ー	リレー XX:リレー 01*YYYYY	転送を許可するドキュメント名を登録します。
			リレー レポート	ー	オン オフ	転送した後のレポート出力を設定します。
	ネットワーク設定リセット	ー	ー	ー	はい いいえ	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

製品情報

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
製品情報	シリアル No.	–	–	–	シリアルNo.を表示します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	印刷枚数表示	–	–	合計 ファクス／リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	消耗品寿命	ドラム寿命	–	–	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ヒーター寿命	–	–	定着器ユニット(ヒーター)（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		レーザー寿命	–	–	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PF キット MP 寿命	–	–	多目的トレイ（MPトレイ）PFキット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PF キット 1 寿命	–	–	記録紙トレイ 1PF キット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		PF キット 2 寿命※	–	–	記録紙トレイ 2PF キット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されます。

初期設定

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブメニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
初期設定	受信モード	−	−	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	⇒45 ページ
	時計セット	時計セット	−	2013 01/01 00:00	現在の日付・時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		タイム ゾーン	−	UTC +09:00	本製品が設置されている地域のタイムゾーンを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	発信元登録	−	−	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	回線種別設定	−	−	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ダイヤルトーン設定	−	−	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	ナンバー プレフィックス	−	−	オン オフ	構内交換機（PBX）使用時、外線にダイヤルするときに必要な番号を登録します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	特別回線対応	−	−	一般 ISDN PBX	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	リセット	機能設定	−	はい いいえ	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容ををお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		ネットワーク	−	はい いいえ	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		電話帳 & ファクス	−	はい いいえ	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		全設定	−	はい いいえ	本製品のすべての設定内容や登録情報をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	表示言語	−	−	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ユーザーズガイド 応用編

【コピー】ボタン

液晶ディスプレイの【コピー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	選択項目１	選択項目２	内容	参照ページ
コピー画質	－	－	自動 テキスト 写真 カーボン	－	印刷品質に合わせて設定します。	⇒59 ページ
拡大/縮小	100%	－	－	－	－	⇒56 ページ
	拡大	－	115% B5 ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 200%	－	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	⇒56 ページ
	縮小	－	50% 70% A4 ⇒ A5 83% 最大 ⇒ A4 87% A4 ⇒ B5 91% フルページ 94% A4 ⇒ USレター 97% USレター ⇒ A4	－		
	自動	－	－	－		
	カスタム (25-400%)	－	－	－		
両面コピー	－	－	オフ 両面⇒両面 片面⇒両面 長辺綴じ原稿 両面⇒片面 長辺綴じ原稿 片面⇒両面 短辺綴じ原稿 両面⇒片面 短辺綴じ原稿	－	両面コピーします。 とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	⇒56 ページ
トレイ選択	－	－	記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※ 多目的トレイのみ 多目的トレイ＞トレイ#1 多目的トレイ＞#1＞#2※ トレイ#1＞多目的トレイ #1＞#2＞多目的トレイ※	－	使用する記録紙トレイを設定します。	⇒59 ページ
明るさ	－	－	暗い　明るい □□■□□ 0	－	コピーの明るさを調整します。	⇒59 ページ
コントラスト	－	－	－　＋ □□■□□ 0	－	コピーのコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒60 ページ
スタック/ソートコピー	－	－	スタック ソート	－	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	⇒56 ページ
レイアウトコピー	－	－	オフ（1in1） 2in1(縦長) 2in1(横長) 2in1(ID) 4in1(縦長) 4in1(横長)	－	複数の原稿を1枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	⇒57 ページ

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	選択項目１	選択項目２	内容	参照ページ
設定を 保持する	ー	ー	コピー画質 明るさ コントラスト	はい いいえ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
設定を リセットする	ー	ー	はい いいえ	ー	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
お気に入り 設定	保存	お気に入り1	名前：	コピー画質 拡大/縮小 両面コピー トレイ選択 明るさ コントラスト スタック/ソート レイアウト コピー	お気に入り設定コピーに関する設定を、組み合わせを変えるなどして3つまで名前を付けて登録しておくことができます。	ー
		お気に入り2	名前：			
		お気に入り3	名前：			
	名前の変更	お気に入り1	名前：	ー	お気に入りに登録した名前を変更することができます。	ー
		お気に入り2	名前：	ー		
		お気に入り3	名前：	ー		
お気に入り	ー	ー	お気に入り1	ー	お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	ー
	ー	ー	お気に入り2	ー		
	ー	ー	お気に入り3	ー		

【ファクス】ボタン

液晶ディスプレイの【ファクス】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
電話帳	編集	ワンタッチダイヤル登録	–	–	ワンタッチボタンに相手先番号と名前を登録します。（最大32件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		短縮ダイヤル登録	–	–	電話帳に短縮ダイヤルとして相手先番号と名前を登録します。（最大300件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		グループ登録（ワンタッチ）	–	–	複数の相手先をワンタッチダイヤルに「グループ」として登録します。（最大20件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		グループ登録（短縮）	–	–	複数の相手先を短縮ダイヤルにグループとして登録します。（最大20件）	⇒ユーザーズガイド 応用編
		変更	–	–	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		削除	–	–	電話帳に登録されている相手先の情報を消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
両面ファクス	–	–	–	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 <u>オフ</u>	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒45 ページ
音量※	–	–	–	切 小 <u>中</u> 大	オンフック時の音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ファクス画質	–	–	–	<u>標準</u> ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質を一時的に設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
原稿濃度	–	–	–	<u>自動</u> 濃く 薄く	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
原稿台スキャンサイズ	–	–	–	<u>A4</u> USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
同報送信	直接入力	–	–	–	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	電話帳	–	–	–		
タイマー送信	–	–	–	オン <u>オフ</u>	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
リアルタイム送信	–	–	–	オン <u>オフ</u>	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照ページ
ポーリング 送信	―	―	―	標準 機密 オフ	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
送付書	―	―	―	オン オフ	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
ポーリング 受信	―	―	―	標準 機密 タイマー オフ	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
海外送信 モード	―	―	―	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定を 保持する	―	―	―	ファクス画質 原稿濃度 原稿台スキャンサイズ リアルタイム送信 送付書	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
設定を リセットする	―	―	―	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：オンフック時、ファクス設定画面でのみ表示されます。

【スキャン】ボタン

液晶ディスプレイの【スキャン】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブ メニュー２	サブ メニュー３	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to USB	スキャン画質	－	－	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi カラー自動 グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi グレー自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル タイプ	－	－	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
	両面スキャン	－	－	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 オフ	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル名	－	－	－	ファイル名を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	原稿台スキャンサイズ	－	－	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル サイズ※	－	－	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	設定を 保持する	－	－	スキャン画質 ファイルタイプ 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	設定を リセットする	－	－	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

※：スキャン画質がカラーかグレーのときのみ選択することができます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to ネットワーク ファイル※1	ネットワーク： ネットワーク 保存	スキャン画質	－	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi カラー自動 グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi グレー自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	－	カラー /グレー： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ： PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	－	両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿 オフ	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャンサイズ	－	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ※2	－	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル名	－	BRNXXXXXXXXXX Mitsumori Report Cyumon-syo Keiyaku-syo Denpyo Jucyu-syo <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

※ 1：Windows® のみ

※ 2：スキャン画質がカラーかグレーのときのみ選択することができます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to FTP	FTP:FTP サーバーに 保存	スキャン画質	−	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi カラー自動 グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi グレー自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	−	カラー /グレー : PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ : PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	−	両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿 オフ	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャンサイズ	−	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ※	−	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル名	−	BRNXXXXXXXXXXX Mitsumori Report Cyumon-syo Keiyaku-syo Denpyo Jucyu-syo <手動設定>	あらかじめ登録されたファイル名を設定できます。「手動設定」を選択すると、直接好きなファイル名を入力することができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

※：スキャン画質がカラーかグレーのときのみ選択することができます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to Eメール	直接入力/ 電話帳	スキャン画質	–	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi カラー自動 グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi グレー自動 モノクロ 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル タイプ	–	カラー / グレー : PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS モノクロ : PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF		
		両面スキャン	–	両面スキャン:長辺綴じ原稿 両面スキャン:短辺綴じ原稿 オフ	両面原稿の綴じ辺を設定し、うら面の読み取り方向を決定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		原稿台スキャンサイズ	–	A4 USレター リーガル/フォリオ	原稿台ガラスからファクスを送信するときに読み取りサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		ファイル サイズ※	–	小 中 大	スキャンするときのファイルサイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		送信先件数	–	–	送信先を確認 / 追加します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		設定を 保持する	–	スキャン画質 ファイルタイプ 原稿台スキャンサイズ ファイルサイズ	変更した設定を保持します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		設定を リセットする	–	はい いいえ	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

※：スキャン画質がカラーかグレーのときのみ選択することができます。

メイン メニュー	サブ メニュー 1	サブ メニュー 2	サブ メニュー 3	選択項目	内容	参照ページ
スキャン to PC	Eメール： Eメール添付	両面スキャン	―	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 オフ	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	イメージ： PC画像表示	両面スキャン	―	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 オフ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的にコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	OCR： テキストデータ	両面スキャン	―	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 オフ	スキャンしたデータをテキストに変換してコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	ファイル： フォルダー保存	両面スキャン	―	両面スキャン：長辺綴じ原稿 両面スキャン：短辺綴じ原稿 オフ	スキャンしたデータをコンピューターに保存します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
Web サービス スキャン※	スキャン	―	―	―	Web サービスプロトコルを使用してデータをスキャンします。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	電子メール用にスキャン	―	―	―		
	OCR用に スキャン	―	―	―		
	FAX用に スキャン	―	―	―		
	印刷用に スキャン	―	―	―		

※：Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

その他の機能

待ち受け画面から以下の設定ができます。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
USB ダイレクトプリント	（表示されたUSBメモリ内のファイル名を選択）	テンポラリ印刷設定/部数入力（001～999）	記録紙サイズ	<u>A4</u> USレター リーガル A5 A5 L（A5（横置き）） A6 B5 B6 フォリオ ハガキ	記録紙サイズを設定します。	⇒61 ページ
			記録紙タイプ	<u>普通紙</u> 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	記録紙タイプを設定します。	⇒61 ページ
			レイアウト	<u>1in1</u> 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	Nin1を設定します。	⇒61 ページ
			印刷の向き※1	<u>縦長</u> 横長	印刷方向を設定します。	⇒61 ページ
			両面印刷	長辺綴じ 短辺綴じ <u>オフ</u>	両面印刷時の内容を設定します。	⇒61 ページ
			部単位	<u>オン</u> オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	⇒61 ページ
			トレイ選択	<u>自動</u> 多目的トレイのみ 記録紙トレイ#1のみ 記録紙トレイ#2のみ※2	使用する記録紙トレイを設定します。	⇒61 ページ
			プリント画質	<u>標準</u> きれい	印刷画質を設定します。	⇒61 ページ
			PDFオプション	<u>文書</u> 文書＆注釈 文書＆スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒61 ページ

※ 1：JPEG 形式時のみ選択することができます。
※ 2：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されます。

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
USB ダイレクト プリント	インデックス プリント	―	―	―	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	デフォルト 印刷設定	記録紙サイズ	―	A4 USレター リーガル A5 A5 L（A5（横置き）） A6 B5 B6 フォリオ ハガキ	記録紙サイズを設定します。	⇒61 ページ
		記録紙タイプ	―	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	記録紙タイプを設定します。	⇒61 ページ
		レイアウト	―	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2x横2倍 縦3x横3倍 縦4x横4倍 縦5x横5倍	N in 1を設定します。	⇒61 ページ
		印刷の向き	―	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒61 ページ
		部単位	―	オン オフ	部単位を設定します。	⇒61 ページ
		プリント画質	―	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒61 ページ
		PDFオプション	―	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒61 ページ
		インデックス プリント	―	簡易 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
セキュリティ 印刷	＊ユーザー 選択	＊ジョブ選択	パスワード	印刷 削除	4桁のパスワードを入力するとセキュリティ印刷ができます。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
セキュリティ 機能ロック※	ロック オン ⇒オフ	パスワード	ー	ー	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザごとにロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
	一般モードへ 切替	ー	ー	ー		
	ユーザー切替	＊ユーザー選択	パスワード	ー		
セキュリティ 設定ロック	パスワード	ー	ー	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
電話帳	ワンタッチ ダイヤル登録 （最大32件）	ファクス/電話	ー	標準 ファイン スーパーファイン 写真	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		インターネット ファクス	ー	標準 ファイン 写真	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロ PDF	300 dpi 200 dpi 200 X 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール モノクロ TIFF		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		ー	ー	⇒ユーザーズ ガイド 応用編

※：セキュリティ機能がオンでユーザー設定からメニューに入ったときのみです。

メインメニュー	サブメニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
電話帳	短縮ダイヤル登録 （最大300件）	ファクス/電話	–	標準 ファイン スーパーファイン 写真	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		インターネットファクス	–	標準 ファイン 写真	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ PDF	300 dpi 200 dpi 200 X 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ TIFF		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーPDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーJPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーXPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレーPDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレーJPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレーXPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
	グループ登録 （ワンタッチ）	ファクス/IFAX	–	標準 ファイン スーパーファイン 写真	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ PDF	300 dpi 200 dpi 200 X 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ TIFF		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーPDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーJPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラーXPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー１	サブメニュー２	サブメニュー３	選択項目	内容	参照ページ
電話帳	グループ登録（ワンタッチ）	Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
	グループ登録（短縮）	ファクス/IFAX	–	標準 ファイン スーパーファイン 写真	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ PDF	300 dpi 200 dpi 200 X 100 dpi	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール モノクロ TIFF		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 600 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラー JPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール カラー XPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレー PDF	100 dpi 200 dpi 300 dpi 自動	PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレー JPEG		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
		Eメール グレー XPS		–	–	⇒ユーザーズガイド 応用編
	変更	–	–	–	–	–
	削除	–	–	–	–	–

本製品の仕様

基本設定

プリントタイプ			レーザー
プリント方式			半導体レーザー +乾式電子写真方式
メモリ	標準		128MB
	オプション		256MB（DIMM スロット x 1）
液晶ディスプレイ			Wide 5 TFTカラー LCD （Wide 12.6cm/126.0mm TFT Color LCD）
電源			AC100V（50/60Hz）
ウォームアップタイム※ 1			5.5秒以下（スリープモードから） 27秒以下（電源投入から）
消費電力※ 2	ピーク時		約1200W（25℃）
	コピー時		約697W※5（25℃）
	コピー時（静音モード）		約314W（25℃）
	スタンバイ時		約9.3W（25℃）
	スリープ時※ 3		約6.5W
	ディープスリープ時※ 4		約1.4W
外形寸法			477 mm 491 mm 415 mm
重量（消耗品を含む）			17.7kg
稼動音	音圧レベル	動作時	LpAm 59dB（A）以下
		スタンバイ時	LpAm 37dB（A）以下
		印刷時（静音モード）	LpAm 54dB（A）以下
	音響レベル	動作時	LWAd 6.63B（A）
		スタンバイ時	LWAd 4.70B（A）
		印刷時（静音モード）	LWAd 6.4B（A）

温度	操作時	10～32.5℃（結露なきこと）
	保管時	0～40℃
湿度	操作時	20～80%（結露なきこと）
	保管時	10～90%
ADF（自動原稿送り装置）		最大50枚まで 温度：20～30℃ 湿度：50～70% 用紙坪量：64～90g/m^2

※ 1：温度 23 ℃、湿度 50% で測定した値です。
※ 2：本製品とパソコンを USB ケーブルで接続した場合
※ 3：無線 LAN 使用時
※ 4：無線 LAN 使用時は、ディープスリープモードに切り替わりません。
※ 5：原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

原稿サイズ

両面：ADF（自動原稿送り装置）使用時	原稿サイズ幅	147.3～215.9mm
	原稿サイズ長さ※	147.3～355.6mm

※：両面読み取りは A4 サイズまでです。

用紙仕様

給紙	記録紙トレイ（標準）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙、ハガキ（30枚）
		用紙サイズ	A4、レター、B5（ISO/JIS）、A5、A5（横）、B6（ISO）、A6、ハガキ（同等品）
		用紙坪量	60～105g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	500枚（80g/m^2） ハガキ：30枚（185g/m^2）
	多目的トレイ（MP トレイ）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、普通紙（厚め）、超厚紙、再生紙、封筒※4、封筒（厚め）、封筒（薄め）、ハガキ（10枚）、ラベル紙
		用紙サイズ	ユーザー定義サイズ（幅：76.2～215.9mm 長さ：127.0～355.6mm）
		用紙坪量	60～163g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	50枚（80g/m^2） ハガキ：10枚（185g/m^2）
	増設記録紙トレイ（オプション）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、B5（ISO/JIS）、A5、B6（ISO）
		用紙坪量	60～105g/m^2
		最大給紙枚数	500枚（80g/m^2）
排紙※1	上面※2		150枚（80g/m^2）
	背面排紙トレイ※3		1枚（ハガキ：15枚）
両面	自動両面印刷	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60～105g/m^2

※ 1：ラベル紙は汚れ防止のため、印刷後排紙トレイからすぐに取り出してください。
※ 2：上面排紙トレイからは、印字面が下向きに排紙されます。
※ 3：背面排紙トレイからは、印字面が上向きに排紙されます。
※ 4：封筒は洋形 4 号（3 枚）

ファクス

互換性		スーパー G3
圧縮方式		MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度		33600bps（自動フォールバック付き）
受信ファクスの両面印刷		あり
自動両面送信		あり
ファクス読み取り幅		ADF：208mm　原稿台：204mm
受信ファクスの印刷幅		208mm
グレースケール		8ビット/256階調
走査線密度	主走査	8ドット/mm
	副走査	3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ワンタッチダイヤル		32件
短縮ダイヤル		300件
グループダイヤル		20件
同報送信		382件
自動再ダイヤル		3回/5分間隔
メモリ送信		500枚
メモリ代行受信※		500枚

※：A4 版 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で蓄積した場合（MMR 圧縮時）

コピー

コピー読み取り幅	A4（ADF/原稿台）：204mm
自動両面コピー	あり
連続複写枚数	スタック/ソート　最大99枚
複写倍率	1:1±1.4% / 50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・自動、25～400%の1%刻み
コピー解像度	最高1200dpi×600dpi
ファーストコピーアウトタイム	10.5秒以下
階調	256階調

スキャナー

カラー / モノクロ		あり
TWAIN ドライバー対応 OS		Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7 Mac OS X 10.5.8, 10.6.x, 10.7.x※1
WIA ドライバー対応 OS		Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7
ICA ドライバー対応 OS		Mac OS X 10.6.x, 10.7.x
階調	フルカラー	入力：48ビット、出力：24ビット
スキャナー解像度		ADF使用時：1200×600dpi※2 原稿ガラス使用時：1200×1200dpi※2
スキャナー読み取り幅		A4（ADF/原稿台ガラス）：204mm
自動両面スキャン		あり（ADF使用時のみ）
グレースケール		256階調

※ 1： Mac OS X の最新のドライバーはサポートサイト（http://solutions.brother.co.jp/）よりダウンロードすることができます。

※ 2： WIA ドライバー（Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。
（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

自動両面印刷		あり
エミュレーション		PCL6、BR-Script3（PostScript® 3™）、 Epson FX-850
解像度		1200dpi × 1200dpi HQ 1200dpi（2400dpi × 600dpi）相当 600dpi × 600dpi
プリントスピード（A4）	片面	最高40枚/分※1 ※2
	両面	最高9枚/分※1 ※2
ファーストプリントタイム（レディ時）※3		8.5秒以下

※ 1： 標準記録紙トレイおよびオプションの記録紙トレイから印刷した場合。

※ 2： プリントスピードは、印刷する文章のタイプにより異なります。

※ 3： 標準記録紙トレイ使用時、レディモードから印刷した場合。

インターフェイス

USB	Hi-Speed USB 2.0※1 ※2 ※3
イーサネット※4	10BASE-T※5/100BASE-TX※5/1000Base-T※6 ※7
無線 LAN	IEEE802.11b/g/n（インフラストラクチャーモード） IEEE802.11b（アドホックモード）
Wi-Fi Direct	あり

※ 1：2.0m 以下の USB ケーブル（タイプ A/B）を推奨します。

※ 2：ご使用のコンピューター、または Macintosh が Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合。
また、USB 1.1 に対応しているコンピューターでも接続することができます。

※ 3：サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。

※ 4：ネットワークの仕様については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「付録」を参照してください。

※ 5：カテゴリ 5（10BASE-T/100BASE-TX 用）以上のストレートタイプのツイストペアケーブルをお使いください。

※ 6：カテゴリ 5e（1000BASE-T 用）以上のストレートタイプのシールド（STP）ケーブルをお使いください。

※ 7：1000BASE-T（ギガビットイーサネット）で通信する場合は、1000BASE-T に対応したネットワーク機器をご使用ください。

ダイレクトプリント

互換性	PDF version1.7※、JPEG、Exif+JPEG、 PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）、 TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）、XPS version 1.0
インターフェイス	USB

※：JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルには対応しておりません。

消耗品

トナーカートリッジ	付属品	約3,000枚※1 ※2
	標準（型番）	約3,000枚※1 ※2（TN-53J）
	大容量（型番）	約8,000枚※1 ※2（TN-56J）
ドラムユニット（型番）		約30,000枚※3 ※4（DR-51J）

※ 1：印刷可能枚数は JIS X 6931（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

※ 2：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容などによって異なります。

※ 3：A4 を 1 回に 1 ページ印刷した場合

※ 4：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

ネットワーク

LAN		本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-Fax 送信機能、PC-Fax 受信機能（Windows®のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティBRAdmin Light※1 ※2も使用できます。
ネットワークのプロトコル	IPv4	ARP，RARP，BOOTP，DHCP，APIPA（Auto IP），WINS/NetBIOS name resolution，DNS Resolver，mDNS，LLMNR responder，LPR/LPD，Custom Raw Port/Port9100，POP3※3，SMTP Client，IPP/IPPS，FTP Client and Server，LDAP Client※3，CIFS Client，TELNET Server，SNMPv1/v2c/v3，HTTP/HTTPS server，TFTP client and server，ICMP，Web Services （Print/Scan），SNTP Client
	IPv6	NDP，RA，DNS resolver，mDNS，LLMNR responder，LPR/LPD，Custom Raw Port/Port9100，IPP/IPPS，FTP Client and Server，LDAP Client※3，CIFS Client，TELNET Server，SNMPv1/v2c/v3，HTTP/HTTPS server，TFTP client and server，SMTP Client，ICMPv6，SNTP Client，Web Services （Print/Scan）
ネットワークのセキュリティ	有線 LAN	APOP，POP before SMTP，SMTP-AUTH，SSL/TLS （IPPS，HTTPS，SMTP，POP），SNMP v3，802.1x （EAP-MD5，EAP-FAST，PEAP，EAP-TLS，EAP-TTLS），Kerberos
	無線 LAN	APOP，POP before SMTP，SMTP-AUTH，SSL/TLS （IPPS，HTTPS，SMTP，POP），SNMP v3，802.1x（LEAP，EAP-FAST，PEAP，EAP-TLS，EAP-TTLS），Kerberos
無線セキュリティ		WEP 64/128 bit，WPA-PSK（TKIP/AES），WPA2-PSK（AES）
AOSS™		あり
WPS		あり

※ 1：Windows® をご使用の場合は、本製品に付属の⇒「かんたん設置ガイド」を参照し、付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM から BRAdmin Light をインストールしてください。
Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしてください。

※ 2：さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows® 版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）より最新版をダウンロードしてご使用ください。

※ 3：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に利用できます。

Wi-Fi認証について

この製品は、Wi-Fi AllianceのWi-Fi製品IEEE802.11b/802.11g/802.11n認証を受けています。Wi-Fi Alliance認証プログラムは、IEEE無線標準規格802.11を基準とした他メーカーの無線LAN製品と互換して機能することを保証します。Wi-Fi Allianceと認証製品については、http://www.wi-fi.org/を参照してください。

簡単無線LAN設定

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS※1 (PBC※2)のいずれかに対応している場合、1つのボタンを押すだけで無線LAN設定ができます。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

※ 1：Wi-Fi Protected Setup

※ 2：Push Button Configuration

補足

上記の機能に対応した製品には、次のいずれかのマークが表示されています。

動作環境

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU</th><th rowspan="2">必要なメモリ</th><th rowspan="2">推奨メモリ</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェイス※1</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td colspan="7">Windows®</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Home Edition</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® II 相当のプロセッサ</td><td rowspan="2">128MB</td><td rowspan="2">256MB</td><td rowspan="3">150MB</td><td rowspan="3">500MB</td><td rowspan="5">USB2.0、10Base-T/100Base-TX（イーサネット）、1000Base-T（ギガビットイーサネット）、無線（Wireless 802.11b/g/n）</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td>256MB</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® 4相当の64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.2GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1GB (32-bit) 2GB (64-bit)</td><td>1GB (32-bit) 2GB (64-bit)</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003※2</td><td>Intel® Pentium® III 相当のプロセッサ</td><td rowspan="2">256MB</td><td rowspan="2">512MB</td><td rowspan="4">50MB</td><td rowspan="4">なし</td><td rowspan="4">10Base-T/100Base-TX（イーサネット）、1000Base-T（ギガビットイーサネット）、無線（Wireless 802.11b/g/n）</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition※2</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008※2</td><td>Intel® Pentium® 4相当の64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td rowspan="2">512MB</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2※2</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td></tr>
<tr><td colspan="7">Macintosh</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.5.8</td><td>PowerPC G4/G5 Intel® プロセッサ</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td rowspan="3">80MB</td><td rowspan="3">400MB</td><td rowspan="3">USB2.0、10Base-T/100Base-TX（イーサネット）、1000Base-T（ギガビットイーサネット）、無線（Wireless 802.11b/g/n）</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.6.x</td><td rowspan="2">Intel® プロセッサ</td><td>1GB</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.7.x</td><td>2GB</td></tr>
</table>

※ 1：サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
※ 2：ネットワーク接続によるプリント機能のみ

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

索　引

■ 索引の使いかた

- このページでは、本書、「ユーザーズガイド ネットワーク編」、「ユーザーズガイド パソコン活用編」で説明されている項目を検索できます。

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

よ

り

れ

わ

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号

＊

あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. ９０を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意： 間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録･変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971

③

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1: 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
※2: 呼び出し番号･転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。
※3: 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

050-3786-8881

受付時間：月～金　9:00～20:00 /土　9:00～17:00　日曜日･祝日･弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス

複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合▶ 48時間以内に故障機の回収。※一部地域を除く

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

●7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

有償 サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日以降にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）050-3786-8881」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00～12:00　13:00～17:00（土日･祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

トナーカートリッジ･ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因になる可能性があります。
純正品のトナーカートリッジ･ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能･品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）